

クラス		受験番号	
出席番号		氏名	

2014年度

## 第1回 全統記述模試問題

# 地理歴史・公民

2014年5月実施

(1科目 60分)

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かず、下記の注意事項をよく読むこと。

### 注 意 事 項

- 問題冊子は75ページである（世界史B 1～16ページ、日本史B17～24ページ、地理B 25～39ページ、政治・経済41～58ページ、倫理59～75ページ）。
- 解答用紙は別冊になっている。（解答用紙冊子表紙の注意事項を熟読すること。）
- 本冊子に脱落や印刷不鮮明の箇所及び解答用紙の汚れ等があれば、試験監督者に申し出ること。
- 試験開始の合図で解答用紙冊子の地理歴史・公民の解答用紙を切り離し、下段の所定欄に **氏名**・**在・卒高校名**・**クラス名**・**出席番号**・**受験番号**（受験票の発行を受けている場合のみ）を明確に記入すること。なお、**氏名**には必ずフリガナも記入のこと。
- 解答には、必ず黒色鉛筆を使用し、解答用紙の所定欄に記入すること。解答欄外に記入された解答部分は、採点対象外となる。
- 試験終了の合図で上記4.の事項を再度確認し、試験監督者の指示に従って解答用紙を提出すること。

河合塾



1461210115120030

# 世 界 史 B

- 1 古代の東地中海世界について述べた次の文章A～Cを読み、空欄 1 ～ 8 に最も適当な語句を記入し、下線部(1)～(9)に関連する後の問い合わせ（問1～9）に答えよ。

(配点 26点)

A 前2000年頃、インド＝ヨーロッパ系民族はカスピ海北方からバルカン半島や西アジアへ移動を開始した。ヒッタイト人は、前17世紀頃アナトリア（小アジア）に強大な王国を建てて、前16世紀にはメソポタミアに遠征してセム系アムル人が建てた 1 を滅ぼした。製鉄技術を独占したヒッタイトは、その後ミタンニ王国を破ってシリアに進出し、エジプト新王国とともにオリエントの二大勢力を形成した。一方、バルカン半島に移住してきたギリシア人は、前16世紀頃からミケーネ文明を築きはじめ、ミケーネ・ティリンス・ピュロスなどに小王国を建てた。彼らは、前15世紀には 2 文明の中心地であった 2 島に侵入し、さらにその勢力はアナトリアのトロイアにまで及んだとされる。

エジプトでは、アジアから移住してきた 3 が前17世紀にナイル川下流域を支配し、馬と戦車をもたらした。その後、前16世紀に 3 を駆逐した新王国は、ナイル川上流域やシリアに進出して支配領域を広げた。前14世紀に入り、テーベの神官団と対立したアメンホテプ4世は、テーベからアマルナに遷都し、太陽神アトンを唯一神とした。その後、前13世紀には、ラメス2世がシリアでヒッタイトと戦い、世界最古とされる国際条約を結んでいる。

他方、1 滅亡後のメソポタミア地方では、カッシート人がイランのザグロス山脈方面から南メソポタミアに侵入し、この地を支配した。さらに、北メソポタミアに建国したミタンニ王国はシリアにまで勢力を拡大し、ヒッタイトに征服されるまで強勢を誇った。

B 前2千年紀後半になると、「海の民」と呼ばれる諸民族の集団がギリシア・エーゲ海方面から東地中海の各地を攻撃しながら移動を行い、東地中海世界には大きな変化がおこった。「海の民」の活動によってヒッタイトは滅び、エジプト新王国は衰退した。

地中海東岸では、ヒッタイトやエジプトの勢力が後退したことをきっかけに、セム系諸民族が活動を活発化させた。フェニキア人は、沿岸部のシドンやティルスなどの港市国家を拠点に地中海交易に乗り出し、ギリシア人が地中海に進出する前8世紀頃までの間、地中海交易をほぼ独占した。

また、フェニキア人は地中海沿岸に多くの植民市を建設したが、ティルスが北アフリカに建設した植民市は、のちに西地中海の霸権をめぐってローマと戦った。一方、シリアに都市国家を建設した

4 人は、前12世紀頃からダマスクスを中心に内陸都市を結ぶ中継貿易に活躍した。そのた

め 4 語がオリエント世界の国際商業語として広く使われるようになり、4 文字は東方の多くの文字の源流となった。ヘブライ人は、パレスチナに王国を建て、前10世紀の 5 ソロモン両王の時代にイエルサレムを中心に繁栄した。しかし、ソロモン王の死後、王国は北のイスラエル王国と南のユダ王国に分裂した。その後、ユダ王国はカルデア人の王国に滅ぼされ、住民の多くがその都バビロンに強制移住させられた。

一方、ギリシア本土を中心に栄えていたミケーネ文明の諸王国は、気候変動や「海の民」の攻撃、ドーリア人の南下といった混乱のなかで滅亡した。その後のギリシア世界は、約400年にわたって文字史料がない「暗黒時代」を迎え、その間に鉄器時代に移行していった。

C 前2千年紀初めにメソポタミア北部からおこったアッシリアは、鉄製武器で武装した歩兵や騎兵などの導入によって強勢となった。前8世紀頃には新たに 6 を都とし、前7世紀前半にはオリエント世界を統一し、史上初の「世界帝国」を建設した。アッシリアは全国を州に分け、総督を置いて支配したが、住民の強制移住や重税は服属諸民族の反発を招き、前7世紀末に 6 が陥落して滅亡した。その後、オリエント世界はエジプト・リディア・新バビロニア・メディアの4王国が分立する状態となった。

分立していた4王国を併合してオリエント世界を再統一したのは、アケメネス朝ペルシアであった。アケメネス朝の版図は、第3代の 7 の時代には、東はインダス川流域から西はエーゲ海北岸にまで及ぶ広大なものとなった。

一方、アケメネス朝の西側のギリシア世界では、前8世紀頃から多数のポリスが成立した。ポリスは独立した都市国家で、対立・抗争を繰り返し、統一国家が建設されることはなかった。しかし、ギリシア人は共通の言語をもち、オリンピアの祭典やデルフィの神託などを通じて、同一民族としての意識をもち続けた。またギリシア人は、人口増加による土地不足などから植民活動に乗り出した。彼らは、フェニキア人と競合しながら地中海や黒海に進出して沿岸各地に植民市を建設し、交易活動を活発化させた。

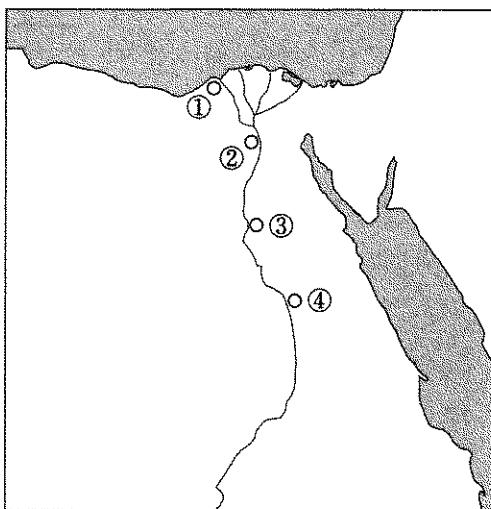
征服型ポリスとして知られるスバルタでは、ドーリア系である少数の完全市民が、商工業に従事するペリオイコイや隸属農民である 8 を支配した。一方、集住型ポリスのアテネでは、商工業の発達にともなって貧富の差が拡大し、貴族と平民の対立がおこった。前7世紀から前6世紀にかけて、立法者・調停者・僭主などと呼ばれた人々があらわれ、さまざまな改革によって民主政の基礎が築かれていった。

アテネ民主政の基礎が確立された頃、アケメネス朝の支配下にあったアナトリア西岸のイオニア植民市が反乱をおこした。これをきっかけにペルシア戦争がはじまったが、最終的にはギリシアの 9 ポリス連合軍がペルシア軍を撃退して終結した。

問 1 下線部(1)について述べた次の文①～④のうちから、正しいものを一つ選び、記号で答えよ。

- ① ミケーネにあるクノッソス宮殿は城壁をもたず、宮殿の壁画には海の生物などが描かれていた。
- ② シュリーマンは、ホメロスの叙事詩の記述を信じ、ミケーネなどを発掘してその実在を証明した。
- ③ この文明を築いたギリシア人たちは、線文字 B と呼ばれる文字を用いたが、この文字はいまだに解読されていない。
- ④ 建材として日干しレンガがおもに使用され、占星術や六十進法が発達した。

問 2 下線部(2)について、その位置として正しいものを、次の地図中の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。



問 3 下線部(3)について、この戦いの名称を記せ。

問 4 下線部(4)について、この植民市の名称を記せ。

問 5 下線部(5)に関連して、これを行った国王の名を記せ。

問 6 下線部(6)に関連して、4 王国について述べた次の文①～④のうちから、正しいものを一つ選び、記号で答えよ。

- ① エジプト王国のハンムラビ王は、同害復讐を原則とする法典を発布した。
- ② リディア王国では、世界最古とされる鋳造貨幣が使用された。
- ③ 新バビロニア王国では、マニ教が国教とされた。
- ④ メディア王国は、ペルセポリスに都を置いた。

問 7 下線部(7)に関連して、ギリシア人は自分たちをヘレネスと呼んだが、異民族を何と呼んだか。

その名称を記せ。

問8 下線部(8)に関連して、アテネ民主政の発展について述べた次の文①～④のうちから、正しいものを一つ選び、記号で答えよ。

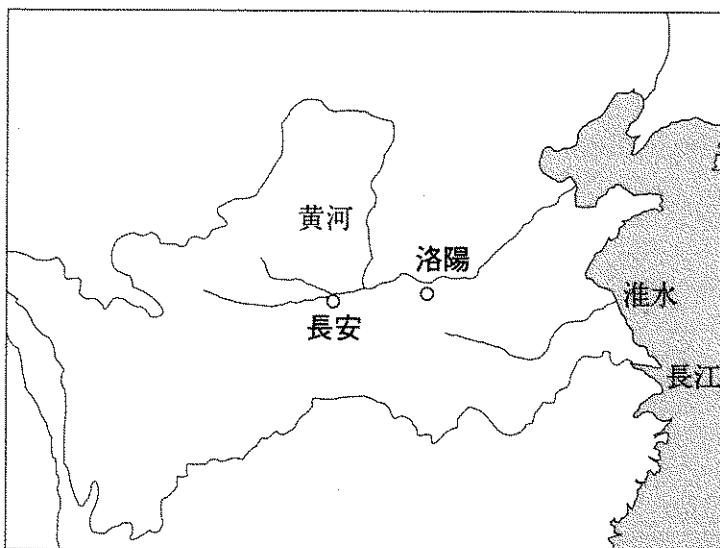
- ① ソロンは、財産の多寡によって政治参加の権利を定めた財産政治を行った。
- ② クレイステネスは、負債を帳消しにし、市民が奴隸になることを禁止する改革を行った。
- ③ ドラコンは、血縁的4部族制をあらため、地域単位の10部族制を新設した。
- ④ ペイシストラトスは、僭主の出現を防止するため陶片追放の制度をつくった。

問9 下線部(9)に関連して、この戦争を物語的な歴史叙述で著した歴史家の名を記せ。

2 洛陽と長安の歴史について述べた次の文章A・Bを読み、空欄 1 ~

8 に最も適當な語句を記入し、下線部(1)~(7)に関連する後の問い合わせ(問1~7)に答えよ。

(配点 24点)



A 現在の河南省北西部に位置する洛陽は、華北平原と渭水盆地を結ぶ要地にあり、古来、交通・経済の中核として発展した。前11世紀頃、陝西の鎬京を都とする周（西周）は、殷の旧領をはじめ、東方、南方を支配する根拠地として、副都となる洛邑（洛陽）を建設した。その後諸勢力の進出を受けて、前8世紀前半に鎬京から洛邑に遷都すると、以後周（東周）王室は実権を失い、諸侯が割拠興亡する春秋・戦国時代となつた。前256年に秦が東周を滅ぼすと、洛邑は都としての地位を失い、秦代には三川郡、前漢代には河南県の治所が置かれた。

前漢にかわった新は長安を都としたが、農民反乱や豪族反乱で滅亡し、長安は赤眉の乱の際に反乱軍によって破壊された。こうしたなか、豪族を率いた劉秀（光武帝）が勢力を強め、後25年に後漢を建て洛陽を都と定めた。光武帝は耕地・戸籍調査により人民の支配をかため、王莽によって混乱させられた貨幣制度を回復して前漢武帝以来の 1 の鋳造を再開した。この後漢時代には、

2 の『漢書』や許慎の『説文解字』、製紙法の改良など後世に影響を与える著作や発明が多くなされ、また儒学が奨励され、洛陽には官吏養成のための学校である太学が設けられた。後漢末期に官僚と宦官の対立などで政治が乱れるなか、太平道の張角は農民を集め武装化して 3 の乱をおこし、豪族は私兵を蓄えて自立した。頭角を現した曹操の子曹丕（文帝）が禅讓を受けて魏を建てると、後漢末の戦乱で荒廃していた洛陽を再建・改造した。その後実権を握った司馬炎（武帝）が魏帝の禅讓を受け、都洛陽を受け継ぎ西晋を建て、280年には呉を滅ぼして中国を統一したが、永嘉の乱をおこした匈奴によって洛陽は攻略され焼き払われた。五胡十六国時代を経て華北を統一した北魏は、山西の大同に都

4 を造営したが、第6代孝文帝は漢化政策

の一環として 4 から洛陽に遷都してその再建をはかり、外郭の拡張工事を完成させた。しかし、漢化政策は鮮卑系軍人の不満を招き、北魏は東魏と西魏に分裂した。西魏を継いだ北周の外戚楊堅が隋を建てると、北魏末期に荒廃した洛陽城の近郊に新城を築き、隋では西都大興城に対する東都、唐では西京長安に対する東京となった。隋代に整備された運河と黄河の交点に近いことから、洛陽は江南の物資を集積し、長安に転送する基地として繁栄したが、安史の乱後は衰退に向かった。

B 現在の陝西省西安付近に位置した長安とその一帯は、北を渭水、南を秦嶺山脈などの自然の要害に守られた地であったことから、歴代諸王朝の都となった。周の都鎬京、秦の都咸陽は西安近郊に位置し、秦の始皇帝は咸陽に阿房宮をはじめとする宮殿群を建設したが、始皇帝死後の政情不安のなか、咸陽に入った楚の武将 5 は、咸陽に火を放ち略奪に及んだ。その後 5 に勝利し、前202年に前漢を建てた劉邦（高祖）は、要害の地長安を選び都城の造営に着手した。前漢<sup>(3)</sup> は前141年に即位した武帝の時代に全盛期を迎えたが、武帝の死後は宦官や外戚の争いが展開され、実権を握った外戚の王莽が新を建てた。王莽は引き続き長安を都とし、『周礼』に基づき諸改革を実施したが、世情は安定しなかった。

後漢滅亡後の魏晋南北朝時代には西魏・北周などが長安に都を置いたが、中国の再統一をはたした隋の楊堅（文帝）は、軍事・治安機能の強化をはかるため老朽化の進む前漢長安城にかわる都城の造営を命じた。新都城には秦嶺山脈からの豊富な水に恵まれた旧長安城東南部の丘陵地帯が選ばれ、文帝が北周期に大興郡公であったことから大興城と名付けられた。大興城は第2代煬帝<sup>(5)</sup>の頃も造営が続けられ、隋にかわった唐は大興城を引き継いで長安城と改名し、第3代 6 のときに外郭の城壁を完成させた。隋唐長安城は東西に長い長方形で、中央北詰に皇帝の居所である宮城が置かれ、その南に中央官庁が集められ、三省と称される中書省・7・尚書省もここに置かれた。城内の中央を通る朱雀門街を中心とした東西対称に碁盤目状の街路区画が整備された。長安は政治的な計画都市であったが、王朝の安定化とともに徐々に住民の生活空間・経済的功能が充実した結果、唐初の市制は次第に崩れ、商業取引の場も東西両市以外の城内各地区に拡散していった。唐はモンゴル高原の突厥や西域オアシス都市を支配下におき、長安は国際都市としての繁栄を極めた。唐<sup>(6)</sup> の政治制度や文化は周辺諸国に大きな影響を与え、長安の都市形態は日本の平京城や、7世紀末に中国東北地方を中心に建国された 8 の上京竜泉府などの都城のモデルとなつたとされる。しかし安史の乱<sup>(7)</sup> 以降は相次ぐ戦乱で次第に荒廃し、唐末、黄巢の乱のなかで長安に入城した藩鎮軍の略奪・放火により城内のおもな建築物がほとんど破壊された。唐の滅亡後は政治・経済の中心は大運河の要衝となった開封に移り、以後長安が統一王朝の都になることはなかつた。

**問1** 下線部(1)に関連して、春秋・戦国時代には諸子百家と称される多くの思想家があらわれた。諸子百家の一つである法家の政治家で、戦国時代の秦の孝公に仕え、富国強兵策を推進した人物は誰か。その名を記せ。

**問2** 下線部(2)に関連して、後漢が滅亡すると魏・呉・蜀が争う三国時代となつたが、呉と蜀の建国者とその都の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ① 呉 — 劉備 — 成都
- ② 呉 — 孫權 — 建業
- ③ 蜀 — 劉備 — 建業
- ④ 蜀 — 孫權 — 成都

**問3** 下線部(3)に関連して、武帝の時代について述べた次の文①～④のうちから、誤っているものを一つ選び、記号で答えよ。

- ① 一族や功臣を世襲の諸侯とし、貢納と軍役の義務を負わせる郡県制が行わされた。
- ② 大月氏に派遣された張騫の報告により、西域の事情が判明した。
- ③ 財政難を打開するため、物価調整法である均輸法を施行した。
- ④ 南越を滅ぼし、現在のベトナムのハノイ付近に交趾郡を置いた。

**問4** 下線部(4)に関連して、魏晋南北朝時代の王朝について述べた次の文イ・ロの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- イ. 西魏は官吏任用制度である九品中正（九品官人法）を創始した。
- ロ. 南朝の宋は村落制度である三長制を制定し、財政確保と治安維持をはかった。

- ① イ一正 ロ一正      ② イ一正 ロ一誤
- ③ イ一誤 ロ一正      ④ イ一誤 ロ一誤

**問5** 下線部(5)に関連して、隋では文帝の頃から大運河の開削が進められ、煬帝の時に完成した永濟渠は、朝鮮半島に遠征する際の軍糧輸送に使用された。隋の遠征時に朝鮮半島北部を支配していた国を何というか。その国名を記せ。

**問6** 下線部(6)に関連して、西方諸国との交流が盛んになるとゾロアスター教・マニ教・ネストリウス派キリスト教が三夷教と呼ばれて流行し、長安には寺院も建立された。三夷教のうち、ネストリウス派キリスト教の中国での呼び名を何というか。その名称を記せ。

**問7** 下線部(7)に関連して、(i)・(ii)の設間に答えよ。

- (i) 安史の乱がおこったときの唐の皇帝は誰か。その名を記せ。
- (ii) 安史の乱の頃の唐に対して、モンゴル高原とチベット高原で台頭した二つの勢力が、どのように対応したのか、その違いを60字以内で記せ。句読点も字数に含めよ。

世界史Bの問題は次のページに続く。

③ ローマ教皇権の盛衰について述べた次の文章A～Eを読み、空欄 1 ～

10 に最も適当な語句を記入し、下線部(1)～(8)に関連する後の問い合わせ (問1～8)  
に答えよ。

(配点 26点)

A カトリック教会では、1 を初代のローマ教皇とみなしている。彼はイエスの直弟子である十二使徒の筆頭とされた。歴史上、イエスという人物がいつ生まれたかは定かでない。おそらく、前8～前4年頃と推測されている。イエスはイエルサレム北方のガリラヤ地方で活動した。その説教は、ブドウ畠や漁を行う湖などを例として扱うなど民衆に親しみやすい内容で、当時の権威主義的なユダヤ教の律法学者が説く手法とは異なるものであった。  
(1)

イエスは、職業の貴賤、男女差別、貧富の差といった当時の社会を批判するような説教を行ったとされる。そしてイエルサレムを訪れた際、その地にあった神殿に対する冒瀆ともとれる発言を行ったほか、自らを預言者とするような振る舞いが、ユダヤ教のエリート層から反発を受けたとされる。最終的にイエスは捕らえられ、ローマ帝国のユダヤ総督であった2 は、ユダヤ人の告発を受けてイエスを死刑に処した。

イエスの死後、イエスの復活を確信した弟子たちにより、イエスは救世主すなわちキリストとみなされ、キリスト教の原始教団が形成されていった。1 や、「異邦人の使徒」と称されるパウロなどの布教を通じて、イエスの教えは、当初はユダヤ人社会に、やがて異教徒（異邦人）にも広まっていった。また、イエスの言行を記した福音書もまとめられていった。

問1 下線部(1)に関連して、以下の文章は『マルコの福音書』にみられるイエスの説教である。

ある人がぶどう園を作り、垣を巡らし、搾り場を掘り、見張りのやぐらを立て、これを農夫たちに貸して旅に出た。収穫の時になったので、ぶどう園の収穫を受け取るために、僕（しもべ）を農夫たちのところへ送った。だが、農夫たちは、この僕を捕まえて袋だたきにし、何も持たせないで帰した。

(マルコ12・1-3)

当時のローマ帝国では、ぶどうやオリーブなどを栽培する奴隸制大農場が経営されていた。こうした大農場経営を何と称するか。その名称を記せ。

問2 下線部(2)に関連して、キリスト教の拡大には、ローマ帝国の陸路・海路にわたる交通・交易網が寄与していた。ローマの交通・交易について述べた次の文イ・ロの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- イ. ローマは、インドのサータヴァーハナ朝などと季節風貿易を行い、その様子は『エリュトゥラ海案内記』に記されている。
- ロ. ローマと属州ガリアを結ぶアッピア街道は、ローマ最古の軍道で属州へローマの文化や風俗を伝える役割をはたした。
- ① イ一正  一正      ② イ一正  一誤  
③ イ一誤  一正      ④ イ一誤  一誤

B ネロ帝のもと、ローマ大火の後にキリスト教徒が処刑され、この頃に 1 もローマで殉教したとされる。それゆえ、1 は初代教皇として位置づけられた。

当時、国家権力によるキリスト教徒への迫害は恒常化していなかった。ただし、彼らの信仰に基づく宗教的な振る舞いは、当時のローマ人社会から奇異な目でみられることがあり、民衆による迫害を受けることがあった。

3世紀、ローマ帝国は外敵の攻撃に苦慮し、内部でも約半世紀にわたる 3 時代の混乱期に入った。こうした危機的状況を迎えると、国家や皇帝の安寧を祈る国家祭祀を拒むキリスト教徒  
(3) 3 時代を終わらせ、四分統治制を導入したディオクレティアヌス帝による迫害は大規模なものとして知られる。

しかし、キリスト教が示した社会的弱者へのまなざしや、その相互扶助の精神は、帝国内で信徒を拡大させていた。さらに、社会不安が高まるなかで、社会の上層部までキリスト教信仰は広がりを見せた。ディオクレティアヌス帝の退位後、コンスタンティヌス帝はいわゆる「ミラノ勅令」でキリスト教を公認し、4世紀末、テオドシウス帝のもとでキリスト教以外の宗教が禁止され、キリスト教はローマ帝国の国教となった。まもなくローマ帝国は東西に分裂したが、キリスト教世界では、教皇レオ1世の要請を受けて開催されたカルケドン公会議で単性論が異端とされるなど、やがて正統教義が確立されていった。  
(4)

問3 下線部(3)に関連して、当時のローマにあった地下墓所は、キリスト教徒の避難所・礼拝所として利用されたといわれる。この地下墓所を何と称するか。その名称を記せ。

問4 下線部(4)に関連して、父なる神、子なるイエス、聖霊を同質で不可分とする主張を何というか。漢字で記せ。

C 6世紀末に教皇となったグレゴリウス1世は、ブリタニア<sup>(5)</sup>に修道士を派遣した。こうしてブリタニアでは、ローマ式の典礼が定着していったほか、ゲルマニア伝道に尽力したウィンフリードや、のちフランク王国のアーヘンに招かれて学芸の振興にあたったアルクインを輩出するなど、ゲルマン人社会における文化の先進地域となつた。

ゲルマン人布教に際し、ローマ教会は聖画像を必要としていた。しかし、8世紀にビザンツ（東ローマ）皇帝レオン3世が聖画像を禁止する勅令を出したことで、ローマ教会とビザンツ帝国との対立は深まつた。ローマ教会は 1 の後継であることを根拠として、全教会の首位権を主張していたから、その反発はなおさらであった。そのため、ビザンツ帝国に対抗しうる政治勢力による保護を求め、フランク王国に接近したのである。

一方、フランク王国で宮宰の職にあったピピンは王位を狙っていたが、それまでの王朝を廢することによるフランク貴族の反発を懸念していた。そこで、教皇ザカリアスに使者を送りその支持を得ることで、権力の正統化をはかった。ここに両者の利害関係は一致したのである。

フランスの古都ソワソンで国王となったピピンは、その後 4 王国からラヴェンナを奪い教皇に献上し、これがローマ教皇領の起源となつた。ついで、ピピンの息子 5 は、教皇レオ3世からローマ皇帝の冠を受けた。これにより、中世のフランク王国が古代ローマ帝国の理念を継承し、その正統性をローマ教皇が授けるという構図が成立したのである。

問5 下線部(5)に関連して、当時のブリタニアでは小王国群（ヘプターキー）が成立していた。これを9世紀前半に統一した人物は誰か。その名を記せ。

D 5 の死後、フランク王国は三分されていった。ローマ皇帝位はいずれかの王国に継承されていたが、やがて形骸化し、空位となつた。10世紀半ば、マジャール人を撃退するなどして名声を高めたドイツ王オットー1世が、教皇ヨハネス12世から帝冠を受け、神聖ローマ帝国が成立した。オットー1世は、スラヴ人<sup>(6)</sup>布教の拠点としてドイツ東部のマクデブルクに大司教座を設置するなど異教徒のカトリック化に取り組む一方、聖職者・教会組織を帝国統治に役立てる 6 政策を推進した。こうして政治権力と教会の結びつきが強まつたことは、教会の世俗化が進む一因ともなつた。

こうしたなか、フランスのクリュニー修道院を中心に教会刷新運動がおこり、11世紀半ばの教皇レオ9世は、聖職者の妻帯や 7 の禁止を主張した。11世紀後半の教皇グレゴリウス7世は、世俗権力による聖職叙任を 7 とみなし、神聖ローマ皇帝ハインリヒ4世と対立した。この際、破門された皇帝ハインリヒ4世がカノッサで謝罪に追い込まれたことは、教皇権に対する皇帝権の屈服として理解された。このいわゆる叙任権闘争の最中、クレルモン宗教会議で教皇ウルバヌス2世が十字軍を提唱した。第1回十字軍はイエルサレム王国を建てるにいたり、叙任権闘争

も、12世紀前半のヴォルムス協約で聖職者の叙任権は教皇にあることが確認された。こうして、12世紀末に教皇となったインノケンティウス3世のもとで教皇権は最盛期を迎えた。  
(7)

問6 下線部(6)に関連して、スラヴ人の国家について述べた次の文①～④のうちから、誤っているものを一つ選び、記号で答えよ。

- ① ポーランドのカジミェシュ3世（大王）は、クラクフ大学を創設した。
- ② ベーメン王は、金印勅書によって七選帝侯の一人となった。
- ③ オットー1世と戦って敗れたセルビア人は、ハンガリー王国を建てた。
- ④ キエフ公国のウラディミル1世は、ギリシア正教を受容した。

問7 下線部(7)に関連して、教皇権が最盛期を迎えた一因として、公会議の決定や教皇の勅諭が『グラティアヌス教令集』にまとめられるなど、教会法の体系化が進んでいたことが挙げられる。これらの法学研究を支えたイタリア北部の大学の名称を記せ。

E 13世紀末、十字軍最後の拠点 8 の陥落によって、十字軍運動は失敗に終わった。しかし、十字軍に参加した各国君主は、莫大な軍事費を工面する必要などから、国内の諸身分の協力を得て、財政基盤の充実をはかる体制を成立させた。フランスでは、国王フィリップ4世が戦費調達のために国内の聖職者へ課税をはかると、これに反対する教皇 9 と対立し、ついにフィリップ4世の部下がこの教皇をアーニに幽閉するにまでいたった。その後、教皇クレメンス5世のもと、教皇庁はフランス南部のアヴィニョンへ移転した。いわゆる「教皇のバビロン捕囚」である。しかし、教皇はフランス王権に完全に屈したわけではなく、政争が続くローマから逃れたことを機に、アヴィニョン教皇庁は教会組織の集権的な改革に乗り出していく。

14世紀後半より、ローマとアヴィニョンで教皇が並立する教会大分裂（大シスマ）が生じた。事態の収拾がいっこうに進まないなか、公会議を教皇の上位におき、教皇の選出や教義・異端をめぐる議論などを、公会議において協議・解決すべきとする公会議主義が台頭し、15世紀前半の10 公会議でようやく教会大分裂は収拾された。この公会議では、宗教改革の先駆者とされるウィクリフとフスが異端とされている。

これらの出来事を通じてローマ教皇の権威は動搖していき、各国の王権とも対立を深めていった。やがて成立していく主権国家群のもとで、各国の教会はそれぞれの国家権力の統制下に置かれるようになり、教皇を頂点とした一元的なヨーロッパ支配の理念は崩壊していったのである。

問8 下線部(8)に関連して、ヨーロッパ内部における異端撲滅のためにも十字軍は戦った。13世紀の南フランスでみられたこの動きと、それがフランスの政治に与えた影響について、70字以内で説明せよ。句読点も字数に含めよ。

**4** イスラーム勢力の拡大と文化の融合について述べた次の文章を読み、空欄 1 ～ 7 に最も適当な語句を記入し、下線部(1)～(10)に対応する後の問い合わせ（問1～10）に答えよ。

(配点 24点)

610年頃、アラビア半島の都市メッカにおいて誕生したイスラーム教は、1 族ハーシム家出身の預言者ムハンマドが没する632年頃までにアラビア半島を統一し、続く正統カリフ時代にビザンツ帝国とササン朝の両帝国の領域を奪ってその勢力を拡大した。ウマイヤ朝の時代には、その版図は西はヨーロッパ大陸の2 半島から、東は中央アジア西部にいたり、750年に成立したアッバース朝の時代には、ギリシア・ローマやペルシアの先行文明の受容が本格化し、イスラーム文明が成立する。

イスラーム文明は、神の前の信徒の平等を説き、ユダヤ教やキリスト教など先行する諸宗教もアッバー<sup>(2)</sup>ーに由来するとするイスラーム教の教義が背景となって成立した。アッバース朝はムスリム間の平等を実現するとともに、異教徒に対しては人頭税である3 の支払いでの信仰を保障した。そのためアッバース朝統治下の多様な民族や宗教に属する人々が、各自の文化や伝統を持ってイスラーム文明の形成に参加することが可能となった。9世紀から10世紀頃にイスラーム諸科学の発展をもたらしたギリシア語文献の翻訳運動において、その初期の中心となったのはネストリウス派キリスト教徒の学者たちであった。ササン朝以来のイランの工芸文化は、イスラーム美術の発展<sup>(3)</sup> に大きな影響を与えた。諸民族・諸宗教の共存を可能とする仕組みが、普遍的な融合文明としてのイスラーム文明の成立を促したのである。

イスラーム文明の成立と発展には、征服地の文明ばかりではなく、隣接する文明との接触も影響している。751年にイスラーム軍は4 河畔で唐の軍隊と衝突した。通説では、この時に捕虜となつた紙漉き工によってイスラーム世界に製紙法が伝播したとされる。その後、各地に製紙工場が建設され、豊富に紙が供給されたことでイスラーム世界では写本産業が成立し、出版文化が発展する。先述のギリシア語文献の翻訳運動は、こうした背景のもとで行われた。さらにモンゴル帝国の時代には、火薬や磁針など中国起源の発明品がイスラーム世界に伝播した。一方で5 = ハン国治下のイランから中国にもたらされたコバルト顔料は、中国窯業の発展<sup>(4)</sup> に大きな影響を与えていた。インド文明もイスラーム文明に影響を与えた。アッバース朝の都バグダードは、地中海世界とインド洋世界を結ぶ交易の中心であり、インドとの交易も活発化した。そうした接触のなかで、インドで成立した6 の概念とインド数字がイスラーム世界にもたらされ、イスラーム世界における数学の発展<sup>(5)</sup> に大きく寄与することになった。

アラビア語の存在も、イスラーム文明成立の要因に挙げられる。アラビア語で記されたイスラーム教の聖典7 は、他言語への翻訳が禁じられたため、アラビア語は聖なる言語となった。そのため、かえってアラビア語はアラブ人の独占物ではなくなった。先行する文明の文献は、アラビア語

に翻訳されることで民族の違いをこえてムスリム知識人たちの共有物となった。共通言語アラビア語の存在が、イスラーム文明の成立と発展を促したのである。10世紀以降イスラーム世界が分裂に向かう<sup>(7)</sup>一方で、イスラーム世界がアフリカ・インド・東南アジアへと拡大すると、各地のイスラーム文明はペルシア語やトルコ語、さらにスワヒリ語やマレー語などに基づいて独自の発展を遂げた。<sup>(8)</sup>しかし、これらの言語は表記においてアラビア文字を採用し、アラビア語から多くの語彙を導入している。アラビア語による知的ネットワークも維持されていた。聖典の言語であるアラビア語を学んだ宗教学者は、各地を遍歴して学問の修業を積み、イスラーム世界の一体性を保つ役割をはたしたのである。<sup>(9)</sup>

一方、ローマ＝カトリック世界においては、ラテン語訳の聖書が用いられ、ラテン語が知識人の共通語となっていた。このことは、アラビア語からラテン語への翻訳によって、イスラーム文明の知の体系をローマ＝カトリック世界に取り込むことを容易とした。12世紀から13世紀にかけて、シチリア島のパレルモや 2 半島のトレドでアラビア語文献のラテン語への翻訳が進んだ。その成果は12世紀ルネサンス<sup>(10)</sup>となって現れ、西洋文明の発展につながることになる。

**問1** 下線部(1)に関連して、アッバース朝について述べた次の文イ・ロの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。

イ、シーア派の支援を受けて建国したが、その後シーア派を弾圧しスンナ派を基盤とした。

ロ、アブド＝アッラフマーン3世の時代に全盛期を迎えた。

- |       |                             |       |                             |
|-------|-----------------------------|-------|-----------------------------|
| ① イー正 | <input type="checkbox"/> 一正 | ② イー正 | <input type="checkbox"/> 一誤 |
| ③ イー誤 | <input type="checkbox"/> 一正 | ④ イー誤 | <input type="checkbox"/> 一誤 |

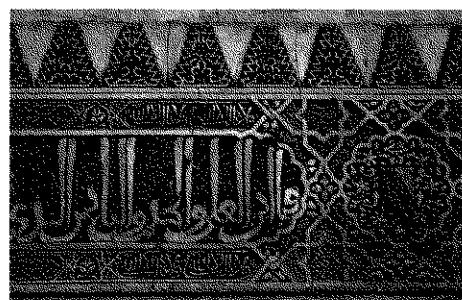
**問2** 下線部(2)に関連して、イスラーム教について述べた次の文①～④のうちから、誤っているものを一つ選び、記号で答えよ。

- ① イスラームはアラビア語で神への帰依を意味する。
- ② モーセやイエスも預言者と認められている。
- ③ イスラーム暦の9月をザカートと称し、断食が義務とされる。
- ④ 最後の審判の思想がある。

問3 下線部(3)に関連して、モスクの壁面装飾などに用いられたイスラーム美術の装飾技法の名称と、その図版の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。



a



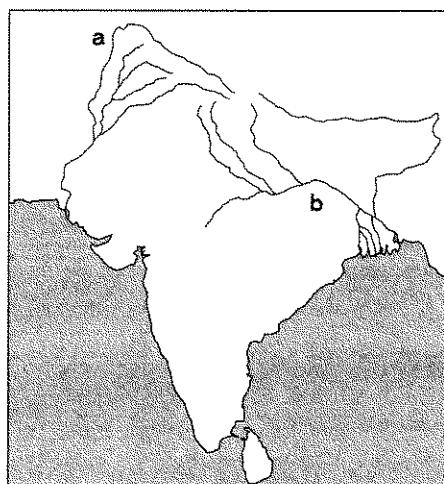
b

- ① ミニアチュール — a  
② ミニアチュール — b  
③ アラベスク — a  
④ アラベスク — b

問4 下線部(4)に関連して、白磁にコバルト顔料で絵を描いて焼き付ける磁器を何というか。その名称を記せ。

問5 下線部(5)に関連して、グプタ朝期の仏教に関して述べた文イまたはロと、その文に関連する地域の地図上の位置aまたはbの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- イ. この地にナーランダー僧院が建立され、仏教教学が研究された。  
ロ. この地を中心にギリシア風の仏像を特徴とする仏教美術が生まれた。



- ① イ—a      ② イ—b      ③ ロ—a      ④ ロ—b

**問6** 下線部(6)に関連して、9世紀前半に活躍し、代数学の基礎を築いた数学者の名を記せ。

**問7** 下線部(7)に関連して、各地で興亡した王朝を時代順に並べた組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ① 中央アジア：カラ＝ハン朝→サーマーン朝→カラ＝キタイ
- ② インド：奴隸王朝→ゴール朝→ハルジー朝
- ③ 西アジア：セルジューク朝→ブワイフ朝→ムラービト朝
- ④ エジプト：ファーティマ朝→アイユーブ朝→マムルーク朝

**問8** 下線部(8)に関連して、14世紀前半にサハラ縦断貿易で繁栄したマリ王国の王は、メッカ巡礼を行った際に大量の金を消費したことで知られている。この王の名を記せ。

**問9** 下線部(9)に関連して、宗教学者はイスラーム法シャリーアの運用にあたり、裁判官・教師・礼拝の指導者をつとめて社会に大きな影響力を持った。こうしたイスラーム宗教学者のアラビア語での名称を記せ。

**問10** 下線部(10)に関連して、西ヨーロッパ医学の発展に大きな影響を与えたイブン＝シーナーの著作の名称を記せ。

# 日本史B

## 1 次の文章を読んで、下の問い合わせ（問1～10）に答えよ。（配点 20点）

縄文時代の墓は、集落の一角、あるいは住居に囲まれた中央の空き地に、共同墓地として営まれた。また、縄文後期以降の一部の遺跡では、環状列石のような特殊で大規模な祭祀構築物を伴った墓地とみられる遺構が出土する場合もある。しかし、生前に着用した飾り玉などが一緒に埋葬されることはあっても、特別な副葬品を伴った墓はほとんど見出すことができず、この時代の社会に階層差はなかったと考えられている。

弥生時代、各地で居住域を取り囲むように溝をめぐらした集落が営まれ、死者は集落近くの共同墓地に葬られた。(4)弥生初期には一部の墓に副葬品を伴ったものが見出せ、集落内に階層差が発生したことがわかる。弥生前期から中期にかけては、九州北部で青銅器を特別に副葬した個人墓が営まれ、これは集落を率いた首長層の墓とみられるが、その副葬品から大陸との交流もうかがえる。(5)弥生中期から後期になると、首長墓とみられる個人墓が共同墓地から独立した場所に設けられた。こうした事例は各地に見出され、地域によっては墳丘墓が築かれた。例えば、山陰地方から北陸地方では、方形の墳丘の四方が張り出した（6）墳丘墓とよばれる特異な形態の首長墓が営まれた。また、岡山県を中心に吉備地域では首長墓に供獻する特殊壺とそれを載せる特殊器台が出土している。このように弥生中期以降の首長墓では、一定範囲の地域で共通性が認められるものがあり、共通の墓制や葬送儀礼を営む小国の連合が存在したことがうかがえる。

その後、3世紀中頃から、弥生後期の墳丘墓より規模の大きな古墳が奈良盆地を中心として西日本の各地に出現した。それらの古墳は集落から離れた地に築かれ、基本的に前方後円墳であり、墳丘の頂上部を穿って割竹型木棺などを収めた（7）式石室を埋葬施設とし、被葬者の威信を示す副葬品も含め、画一的な特徴をもっていた。また、出現期の前方後円墳で最大のものは奈良盆地にみられることから、大和地方の盟主を大王とし、畿内から西日本の有力豪族が連合した統一政権、すなわちヤマト政権が成立したことが想定される。

5世紀前半から中頃になると大王墓とみられる前方後円墳が巨大化し、その中心は奈良盆地から大阪府南部に移り、宮崎県から宮城県にかけての各地でも墳長150～200メートルの前方後円墳が築かれた。このことは、ヤマト政権が大阪平野を拠点に強大化したことや、九州南部から東北南部の地方豪族がその連合下に入ったことを示している。一方、巨大な前方後円墳が吉備や上毛野などでもみられ、畿内中心のヤマト政権の中でこれらの地域の豪族が重要な役割を担っていたことがうかがえる。

しかし、5世紀後半から6世紀には、畿内では大規模な前方後円墳が引き続き造営されたのに対し、それまで畿内について巨大な前方後円墳が営まれた吉備地方などで、大規模な古墳がみられなく

なる。これは、広範囲の豪族が結束した政治連合の段階から大王を中心とする政権に各地の豪族が服属する<sup>(9)</sup>段階へと、ヤマト政権の政治形態が変化したことを示している。一方、6世紀には一定地域に<sup>(10)</sup>小型の円墳が密集する群集墳が急増した。これは、首長層の下で共同体を構成した有力農民をヤマト政権が直接把握し、その支配秩序に組み込もうとしたためであると考えられている。その後、7世紀初頭には前方後円墳が造営されなくなり、7世紀末には豪族層の古墳造営も終焉を迎えた。

**問1** 下線部(1)に関して、二基の環状列石が発見されたことで知られる秋田県の遺跡として正しいものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

- ア 岩宿遺跡 イ 三内丸山遺跡 ウ 大湯遺跡 エ 菜畠遺跡

**問2** 下線部(2)に関連して、装飾用の玉には新潟県姫川流域を原産地とする石材で作られたとみられるものがあるが、この石材は何か。ひらがな3文字で記せ。

**問3** 下線部(3)に関連して、縄文時代の生活・社会について述べた文として誤っているものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

- ア 尖頭器を装着した槍を用いてオオツノジカなどの大型動物を狩猟した。  
イ クリの木の栽培が行われていたと考えられる遺跡も存在する。  
ウ 土錘や石錘の存在から、網を使った漁労も行われていたことがわかる。  
エ 土偶などの存在から、呪術性を色濃く示す社会であったと考えられる。

**問4** 下線部(4)に関して、このような形態をとる集落を何というか。漢字4文字で記せ。

**問5** 下線部(5)に関連して、弥生時代に大陸から伝來した技術・文化について述べた文として誤っているものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

- ア 朝鮮半島に同形のものが見られる石包丁は、稻の穂首刈りに使用された。  
イ 糸に撚りをかける道具とみられる石製の紡錘車が使用された。  
ウ 青銅製の矛や剣は主に祭器・宝器として用いられた。  
エ 朝鮮半島南部と共に支石墓は、九州から関東地方まで広く分布している。

**問6** 空欄（ 6 ）に該当する語句を答えよ。

**問7** 空欄（ 7 ）に該当する語句を答えよ。

**問8** 下線部(8)に関して、京都府の椿井大塚山古墳から大量に出土した銅鏡と同じ鋳型で作られた銅鏡が九州から関東までの広範囲で出土している。この鏡は何か。漢字6文字で記せ。

**問9** 下線部(9)に関して、ヤマト政権から地方の支配権を承認された豪族が任じられた地位で、たとえば筑紫君や伊勢直といった氏姓の豪族が就いたものは何か。

**問10** 下線部(10)に関して、小型の円墳が大量に密集する群集墳として正しいものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

- ア 百舌鳥古墳群 イ 新沢千塚古墳群 ウ 古市古墳群 エ 埼玉古墳群

**2** 次の文章を読んで、下の問い合わせ（問1～14）に答えよ。（配点 30点）

589年、中国では隋が南北朝を統一した。隋帝国の出現は隣接する高句麗に脅威を与え、その緊張は新羅、百濟へと波及していった。そうしたなかで、600年、倭（日本）は隋に使節を派遣したが、その際、自国の国制の不備を痛感したのであろう、その後、603年には豪族を官人化する第一歩として冠位十二階を制定し、翌年には官人に対する訓戒として憲法十七条を制定した。  
(1)

618年には、隋にかわって唐が強大な帝国を成立させて周辺に脅威を与えるようになり、そうした国際的緊張のなかで、朝鮮半島、倭（日本）など周辺諸国は中央集権体制確立の必要に迫られた。倭（日本）では、645年の（2）の変を経て、中大兄皇子らが主導する形で中央集権国家体制樹立をめざす、いわゆる大化の革新(3)が行われた。その後、663年の白村江の戦、672年の壬申の乱など7世紀に起きた対外戦争や内乱は、律令国家建設を促進する契機となり、律令の編纂、国史の編纂、中国の都城にならった初の本格的な都の造営など律令国家確立にむけた諸政策が行われた。  
(4)

701年には（5）や藤原不比等らによって大宝律令が制定され、律令国家は一応の確立をみた。  
(6) 律令のうち、律は今日の刑法に相当し、令は行政組織・官人諸制度や人民の租税などに関する規定である。中央には太政官と神祇官の二官が置かれ、太政官のもとで八省が政務を分担した。地方は、全国が畿内・七道に行政区分され、国がおかれて、中央から派遣された国司が国内を統治した。官人諸制度も整い、官人には位階が与えられて位階に応じた官職に任じられたが、一般に五位以上のものを貴族と呼び、子や孫が父祖の位階によって一定の位階を授与される（8）の制をはじめ、様々な特權が与えられた。一方、民衆は戸籍・計帳に登録されて、国家から一定面積の口分田が班給され、租税や労役を課された。

大宝律令の後、藤原不比等が大宝律令に修正を施した養老律令を制定したが、すぐには施行されず、政争が繰り返された後、光明皇太后の信任を背景に絶大な権力を握った（10）が施行した。  
(9) しかし、この（10）や、称徳天皇の信任を背景とした道鏡の独裁的政権は政治を一層混迷させ、称徳天皇没後に藤原氏によって擁立された（11）は律令政治の改革に乗り出した。その跡を継いだ桓武天皇も様々な改革に努め、嵯峨天皇はそれを受け継いで法制の整備も進め、『弘仁格式』を編纂した。  
(12) 唐の律令を模して制定された日本の律令は実情と合わないところが多く、当初から律令の修正法・追加法である格や施行細則である式が単行法令として発されていたが、『弘仁格式』は、それら単行法令を整理・編纂したものである。格式編纂事業は、この後、清和天皇のときの『貞觀格式』、醍醐天皇のときの『延喜格式』へと受け継がれていったが、格式が法典として編纂されたことは、政治・社会の実態に合った形で政務を運営していくという姿勢のあらわれと考えられる。  
(13)  
(14)

問1 下線部(1)に関して、次の史料は「憲法十七条」の一部である。空欄 ( a )・( b ) それ  
ぞれに該当する語句を答えよ。

一に曰く、( a ) を以て貴しとなし、忤ふること無きを宗とせよ。

三に曰く、詔を承りては必ず謹め。( b ) をば則ち天とす、臣をば則ち地とす。

問2 空欄 ( 2 ) に該当する干支を答えよ。

問3 下線部(3)に関して、大化の改新について述べた文として正しいものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

ア 軽皇子が即位して皇極天皇となり、改新政治を推進した。

イ 阿倍内麻呂が左大臣に、蘇我倉山田石川麻呂が右大臣となった。

ウ 飛鳥板蓋宮において改新の詔が発され、公地公民制への移行が示された。

エ 地方行政組織の「郡」が各地に設置された。

問4 下線部(4)に関して、この宮都について述べた文として正しいものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

ア 初めての本格的な条里制をもつ都であった。

イ 宮には屋根を檜皮で葺いた大極殿が建設された。

ウ 都の東部に外京という張り出し部分が設けられた。

エ 持統・文武・光明三代の天皇の都となった。

問5 空欄 ( 5 ) に該当する親王は誰か。

問6 下線部(6)に関して、大宝律令は法典としては現存しないが、9世紀後半に作成された養老令の注釈書により、その内容を断片的に知ることができる。その注釈書の名称を答えよ。

問7 下線部(7)に関して、国名と七道の組合せとして誤っているものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

ア 紀伊国一南海道 イ 近江国一東海道 ウ 大隅国一西海道 エ 長門国一山陽道

問8 空欄 ( 8 ) に該当する語句を答えよ。

問9 下線部(9)に関して、藤原廣嗣の乱を契機に遷都された、山背国の宮都はどこか。

問10 空欄 ( 10 ) に該当する人物は誰か。

問11 空欄 ( 11 ) に該当する天皇は誰か。

問12 下線部(12)に関して、年間最大60日だったものを30日に半減した農民負担は何か。

問13 下線部(13)に関して、嵯峨天皇は唐文化の影響を受け、唐風の儀礼を受け入れて宫廷の儀式を整えた。また、官吏にも漢詩文の力を要求したが、漢文学・中国史を学ぶ學問を何というか。

問14 下線部(14)に関して、『延喜格』を編纂した中心人物として正しいものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

ア 藤原冬嗣 イ 藤原基経 ウ 藤原時平 エ 藤原実頼

**3** 次のA～Dの文章を読んで、下の問い合わせ（問1～15）に答えよ。（配点 30点）

- A 6世紀の半ば、佛教が百濟から日本へ公式に伝えられ、大王家や豪族たちの間に広がった。豪族たちは一族の繁栄や治病延命の願い、先祖の供養などのために氏寺を建立して仏像を安置した。たとえば、蘇我馬子が創建した（2）や聖德太子（厩戸王）が創建した法隆寺には、中国南北朝の様式の影響を受けた金銅像が本尊として安置された。ただ、当時、仏は「蕃神」「他国の神」などとよばれて異国の神として崇拜され、佛教も呪術的なものと考えられており、その思想はまだ少數の者にしか理解されていなかった。
- B 7世紀後半、律令国家の建設が進められるなか、佛教には国家の安泰を祈る役割が期待されるようになり、佛教は国家の保護・統制下におかれ、大官大寺や（5）などの官寺が建立された。その後、律令制を完成させた日本は、天武・持統朝で中断していた遣唐使の派遣を再開させ、唐の先進的な制度・技術・文化の摂取に努めた。遣唐使の往来にしたがって多くの僧が唐に留学するとともに外国の僧侶も来日し、彼らは日本の佛教の発展に貢献した。一方、政治や社会の不安を背景に、鎮護国家思想に基づき国家の安定をはかるため、聖武天皇が国分寺・国分尼寺の建立、大仏の造立などの事業を進め、また、そのほか多くの大寺院も建立された。それら寺院の堂内には従来からの木像・金銅像に加えて、多くの塑像・乾漆像が安置された。また、僧尼は鎮護国家のための法会や祈禱を盛んに行うとともに、佛教の教理研究も行い、南都六宗が形成された。
- C 9世紀初頭、遣唐使に随行して留学した最澄・空海により天台宗・真言宗が伝えられ、両宗は南都六宗と同様に鎮護国家の役割を担った。空海が伝えた真言宗は密教の宗派で、秘密の呪法により悟りを開こうとする特色があり、加持祈禱によって現世利益を実現するという面をもったため皇族・貴族の間で流行した。こうした状況に刺激を受けて天台宗でも密教が本格的に導入され、密教は平安時代の佛教の主流となっていった。密教の隆盛は佛教美術にも大きな影響を及ぼした。密教では山中での修行が重視されたため山岳寺院が発達し、彫刻では一木造の技法による木彫像が流行して、人々の願いを叶える如意輪観音像・薬師如来像が盛んに造られた。また、密教の世界を構図化した（11）が描かれて密教の修法の場で用いられ、密教の中心仏大日如来の使者とも化身ともいわれる不動明王が絵画として描かれたり造像されたりした。
- D 10世紀以降、密教が引き続き流行する一方で、律令国家が衰退し、治安の悪化や疫病の流行など社会不安が増大するなか、来世における極楽往生を願う浄土教も流行した。この信仰は、釈迦の入滅後、一定の年数を経ると仏法が衰え戦乱の世になるとする（13）思想によってより強められていった。貴族たちは極楽浄土をこの世に現して往生の助けにしようと、盛んに阿弥陀堂を建立して阿弥陀如来像を安置し、仏師（14）が完成させた寄木造の造像技法がその大量需要に応えた。院政期になると、民間の布教者である聖の活動もあって浄土教は地方にも広がり、藤原清衡が平泉に建立した（15）に代表されるように、各地の地方豪族が阿弥陀堂を建立した。

- 問1 下線部(1)に関して、仏教を日本に公式に伝えた百済の王は誰か。
- 問2 空欄（ 2 ）に該当する寺院は何か。
- 問3 下線部(3)に関して、法隆寺金堂釈迦三尊像を制作した渡来人系の仏師は誰か。
- 問4 下線部(4)に関して、聖徳太子の撰とされる3つの仏教経典の注釈書を総称して何というか。
- 問5 空欄（ 5 ）に該当する、天武天皇が皇后の病気平癒を祈願するため建立した寺院は何か。
- 問6 下線部(6)に関して、8世紀に日本と大陸の間を往来した僧侶について述べた文として誤っているものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。
- ア 鑑真是戒律を伝え、唐招提寺に公的な授戒の場である戒壇院を設けた。
- イ インドの僧である菩提僊那は、東大寺大仏の開眼供養において導師を務めた。
- ウ 玄昉は唐で法相宗を学び、多くの經典を持ち帰った。
- エ 唐で三論宗の教学を深めた道慈は、帰国後、平城京に移転した大安寺の造営に尽力した。
- 問7 下線部(7)に関して、東大寺の大仏(盧舎那仏)は何という經典の本尊か。正しいものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。
- ア 法華經 イ 金光明經 ウ 華嚴經 エ 仁王經
- 問8 下線部(8)に関して、乾漆像として正しいものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。
- ア 興福寺仏頭 イ 神護寺薬師如來像  
ウ 東大寺法華堂執金剛神像 エ 東大寺法華堂不空羈索觀音像
- 問9 下線部(9)に関して、最澄・空海について述べた文として誤っているものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。
- ア 最澄は、比叡山に延暦寺を開いた。
- イ 最澄は大乗戒壇の設立をめざし、これに反対する南都諸宗に対して『三教指帰』で反論した。
- ウ 空海は高野山に金剛峰寺を開くとともに、嵯峨天皇から東寺を与えられて真言密教を広めた。
- エ 空海は、民間教育機関として綜芸種智院を設立した。
- 問10 下線部(10)に関して、山中で修行する密教と在来の山岳信仰が結びついて体系化された信仰で、奈良県吉野の大峰山などがその舞台となったものは何か、漢字3文字で答えよ。
- 問11 空欄（ 11 ）に該当する語句は何か、漢字3文字で答えよ。
- 問12 下線部(11)に関して、源信が極楽往生のための念佛の実践方法を説き、浄土教を体系化した著作は何か。
- 問13 空欄（ 13 ）に該当する語句は何か。
- 問14 空欄（ 14 ）に該当する人物は誰か。
- 問15 空欄（ 15 ）に該当する阿弥陀堂は何とよばれるか、寺院名を付して答えよ。

**4** 次の文章を読んで、下の問い合わせ（問1～9）に答えよ。（配点 20点）

以仁王が発した「清盛法師」の追討を催促する令旨を契機に、大規模な内乱が起こり、そうしたなかから、初めての本格的な武家政権が登場した。以仁王の令旨に応じて挙兵した源頼朝は、1183年には朝廷から東国支配権を承認され、さらに、平氏滅亡後の1185年には源義経追討の名目で守護・地頭の設置を勅許され、全国の軍事・警察権を獲得して、武家政権を鎌倉に構築した。しかし、それは武家政権が完全に国家権力を掌握したことを意味するものではなく、京都には公家政権が存在しており、二つの権力は併存し、抗争しつつも相互に補完しあいながら国家権力を分有していた。

鎌倉幕府の3代将軍源実朝の暗殺後、まもなく起こった承久の乱は、朝廷と幕府の関係を変化させた。(2) 軍事力で朝廷を圧倒した幕府は、上皇らの配流や天皇の廃位などを行い、朝廷の監視を任務とする（3）を設置するなど、朝廷に対する優位を確立させた。乱後、幕府の支配力拡大にともなって地頭による荘園侵略が横行し、地頭と荘園領主との間で紛争が増加した。こうした状況をうけて執權北条泰時のもとで、公平な裁判を行うための基準として御成敗式目が制定されたが、この式目と並んで、朝廷の支配下では律令の系譜をひく公家法が、荘園領主のもとでは本所法が効力をもっており、承久の乱後も幕府による一元的支配が確立したわけではなく、幕府と朝廷が併存する体制に変わりはなかった。しかし、皇位継承に対して干渉するなど幕府の朝廷に対する影響力は強まっており、執權北条時頼の時代には、幕府は後嵯峨院政が行われていた朝廷に政治改革を行わせている。(5)

13世紀後半、蒙古襲来という危機を背景に、幕府は朝廷にせまって、幕府の支配下にない非御家人を動員する権限や、公家・寺社などの支配下にあり幕府が介入することができなかった本所一円地から物資を徴発する権限を獲得するなど、西国一帯への支配を強めていった。一方、朝廷内部では皇統が分裂して皇位を争うようになり、それぞれの皇統は幕府に働きかけ、その力を背景にして事態を有利に導こうとし、幕府もたびたび調停を行った。後醍醐天皇は、朝廷内部の問題にまで幕府が介入する状況への不満などから討幕を計画し、2度の失敗を経て討幕に成功して建武政権を樹立した。後醍醐天皇は強力な天皇権力のもと公武両勢力の統合をはかり、所領の安堵も天皇の命を奉じて蔵人が出す（6）という文書で実施しようとした。しかし、従来の政治のあり方を否定する後醍醐天皇の政治は、武士のみならず公家の反発をも招き、建武政権はまもなく崩壊した。

武家政権の復活をめざした足利尊氏が、（7）統の光明天皇を擁立して朝廷の所在地である京都に幕府を開いたのに対し、後醍醐天皇は吉野に逃れ南北朝の動乱が始まった。動乱は約60年におよんだが、室町幕府の3代将軍足利義満が南北朝の合一に成功し、動乱を終息させた。義満の時代には、幕府が、従来檢非違使庁が有していた京都市中の警察権や裁判権を掌握し、土倉や酒屋への課税(8)権も得るなど、これまで朝廷が有していた権限を次々と吸収して、ほぼ一元的な支配を確立した。義満は武家でありながら公家官職の頂点である（9）にも就任して公武の頂点に立ち、出家後は北山第で自らを法皇に擬して政治を主導した。

問1 下線部(1)に関連して、このとき朝廷内で実権を握っていた法皇は誰か。

問2 下線部(2)に関連して、承久の乱の直前に、慈円が後鳥羽上皇の討幕計画を諫めるために著したものいわれる著書を、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

ア 『吾妻鏡』 イ 『愚管抄』 ウ 『玉葉』 エ 『神皇正統記』

問3 空欄（ 3 ）に該当する機関を答えよ。

問4 下線部(4)に関連して、地頭の莊園侵略に対して、莊園領主は地頭と契約を結んだり話し合いを行うなどして問題を解決しようとした。その解決方法を二つあげて、60字以内で説明せよ。

問5 下線部(5)に関連して、北条時頼の時代、幕府は朝廷に申請して皇族を將軍として迎えたが、このとき將軍になった後嵯峨上皇の皇子を、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

ア 護良親王 イ 懐良親王 ウ 宗尊親王 エ 義良親王

問6 空欄（ 6 ）に該当する語句を答えよ。

問7 空欄（ 7 ）に該当する語句を答えよ。

問8 下線部(8)に関連して、檢非違使庁にかわって京都市中の警察権や裁判権を担当することになった室町幕府の機関を、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

ア 侍所 イ 政所 ウ 記録所 エ 問注所

問9 空欄（ 9 ）に該当する官職を答えよ。

# 地 理 B

- 1 次の文章と図1を見て、世界の地形と自然災害に関する後の問い合わせ（問1～9）に答えよ。

（配点 25点）

古生代末期、地球上の大陸は1つであった。その後、この超大陸は南北2つの大陸に分離し、さらなる移動や分離、衝突を経て、現在の大陸分布となった。世界の山脈の多くは、大陸の衝突に伴う造山運動によって形成されたもので、造山運動を受けた時期の違いにより、古期造山帯と新期造山帯に分類できる。プレートテクトニクス理論によると、新期造山帯に属する山脈や弧状列島、および、海嶺や海溝などはプレートの境界にあたり、火山活動や地震の多い変動帶である。以上のような、地球の内的営力によって形成された大規模な地形を大地形という。

一方、風化・侵食・運搬・堆積など、主に外的営力によって形成された比較的小規模な地形を小地形とよぶ。河川が海に排出した土砂や、付近の海岸で侵食された土砂が、沿岸流により運ばれて堆積して形成されたものも小地形の一種である。

小地形の性質を知ることは自然災害の軽減という観点から非常に重要である。我々の暮らす日本は変動帯に位置し、過去多くの火山や地震災害に見舞われてきただけではなく、毎年のように豪雨や台風による被害を受けている。自分たちの生活する土地の成り立ちや開発による変化、自然環境について学び、官民の連携により防災意識を高めていくことが課題である。

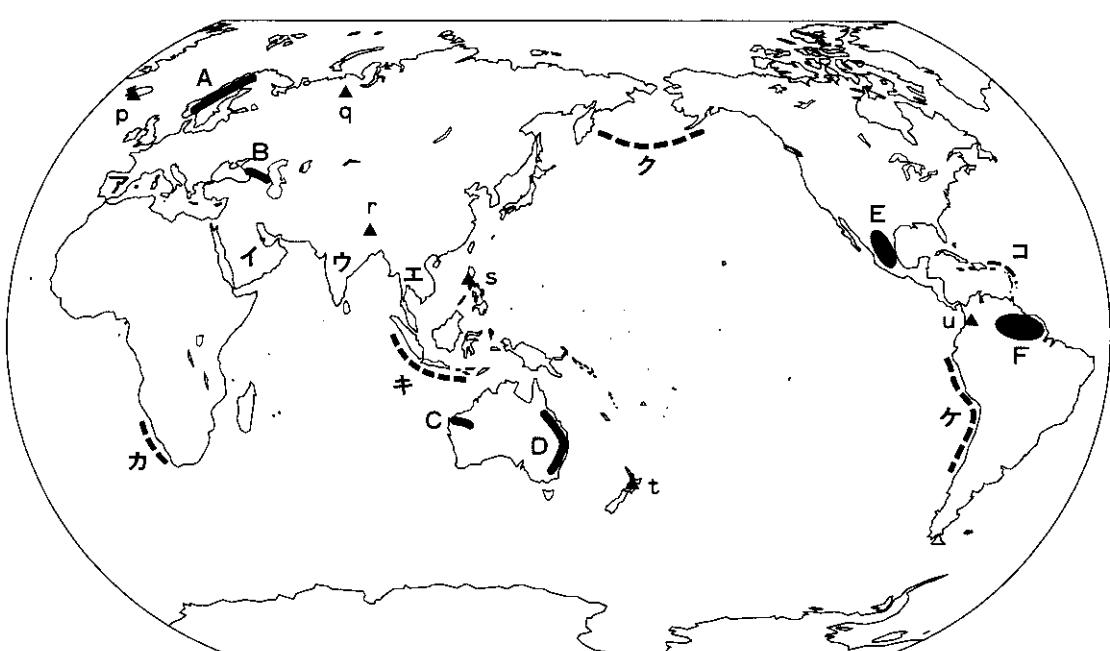


図1

**問1** 下線部(a)に関して、2つの大陸のうち、大部分が南半球側に位置していた大陸名を答えよ。また、図1中の半島ア～エのうち、その大陸に属していたものを2つ選び、記号で答えよ。

**問2** 下線部(b)に関して、図1中の山脈・高原A～Fのうち、古期造山帯と新期造山帯に属するものを、それぞれ2つずつ選び、記号で答えよ。

**問3** 下線部(c)に関して、海嶺はどのようなプレート境界に形成されるか、次の①～③のうちから1つ選び、番号で答えよ。また図1中のカ～コのうち、海溝として適切でないものを1つ選び、記号で答えよ。

- ① 広がる境界 ② ずれる境界 ③ せばまる境界

**問4** 下線部(d)に関して、図1中のP～Uのうち、火山でないものを2つ選び、記号で答えよ。

**問5** 下線部(e)に関して、2011年3月に東日本大震災を引き起こした地震の震源は2つのプレート境界付近に位置している。この2つのプレート名を答えよ。

**問6** 下線部(f)に関して、主として外的營力によって形成された地形を、次の①～④のうちから1つ選び、番号で答えよ。

- ① カルデラ ② 褶曲山地 ③ 断層盆地 ④ ドリーネ

問 7 下線部(g)に関して、下の図2・図3中にみられる地形について述べた次の文章中の空欄（X）、には該当するものの番号を選び、（Y）・（Z）には該当する最も適切な語句をカタカナで答えよ。

図2中の「波の橋立」は、（X：①西から東へ、②東から西へ）流れる沿岸流により運ばれた土砂が堆積して形成された砂州で、「青海湖」は、かつての入り江が、この砂州によって外海と隔てられてできた（Y）である。

図3中の「西山」は、かつて「青海島」とは別の島であったが、沿岸流により運ばれた土砂が、「青海島」と「西山」の島の間に堆積して砂州ができ、「青海島」の一部となったものである。このような砂州を（Z）といい、図3の地域では、「通」の市街地の大部分が（Z）の上に立地している。

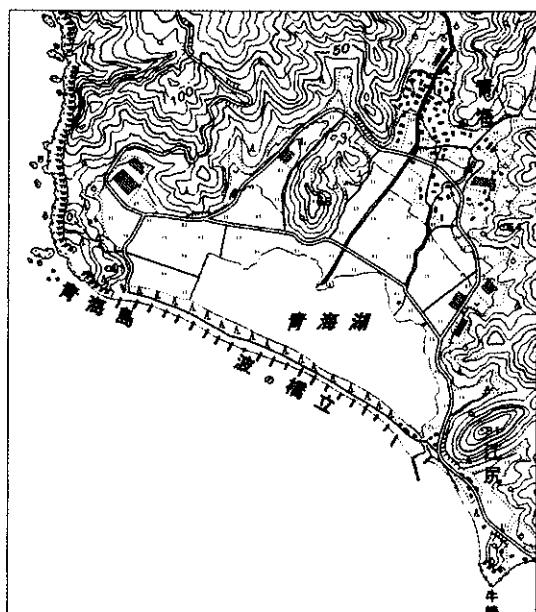
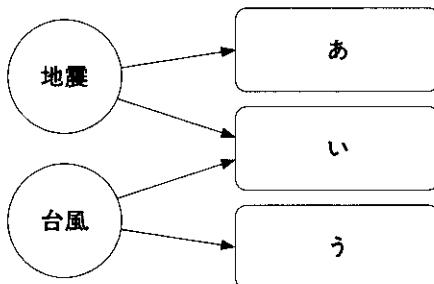


図2



図3

問8 下線部(h)に関して、次の模式図は自然災害をもたらす自然現象を示したもので、あは地震に伴って発生するもの、うは台風に伴って発生するもの、いは地震および台風のいずれも発生源となり得るものである。あ～うに該当する最も適切な自然現象を、下の①～⑤のうちから1つずつ選び、番号で答えよ。



- ① 液状化現象 ② 火碎流 ③ 斜面崩壊 ④ 高潮 ⑤ やませ

問9 下線部(i)に関して、自然災害の被害予測や、災害時の避難経路などを示した地図を何とよぶか。カタカナで答えよ。

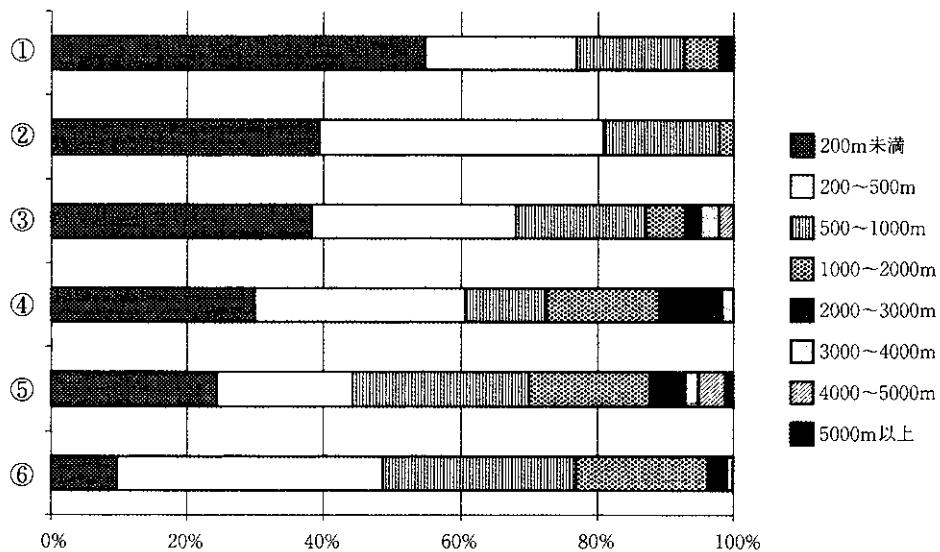
**2** 西アジア・アフリカの自然環境と資源に関する次の文章を読み、後の問い合わせ（問1～8）に答えよ。

(配点 25点)

西アジア・アフリカには比較的平坦な地域が多いが、一部には標高5,000mを超える地域や海面下の低地もみられる。気候は赤道を中心に南北で対称的に分布し、赤道直下や、マダガスカル島東部のようにインド洋から **1** 風が年中吹きつける地域では、降水量が多くなっている。その南北には人口希薄な砂漠気候区を中心とする乾燥帯が広がるが、砂漠でも、ティグリス・ユーフラテス川のような **2** 沿いや湧水地のオアシスには集落や耕地が分布している。また、**3** とよばれるサハラ砂漠南縁地域は、ステップ気候区からサバナ気候区の遷移帶にあたり、雑穀栽培や牧畜が営まれている。西アジア・アフリカには、エネルギー資源や鉱産資源に恵まれている国が多い。近年は世界的な資源需要の高まりから投資が集まるようになり、各国で油田開発が活発化し、石油以外の地下資源も中・南アフリカを中心に各所で採掘されている。

問1 文章中の空欄 **1** ～ **3** に該当する最も適切な語句を、**1** ・ **2** は漢字4文字で、**3** はカタカナで答えよ。

問2 下線部(a)に関して、次の図1中の①～⑥は、アジア、アフリカ、オーストラリア、北アメリカ、南アメリカ、ヨーロッパの各大陸の高度別面積割合を示したものである。これらのうち、アフリカ大陸に該当するものを1つ選び、番号で答えよ。



アジアにはカフカスを含む。『理科年表』により作成。

図1

問3 下線部(b)に関して、下の図2中の地点W～Zのうちから、標高が最も高いものを1つ選び、記号で答えよ。また、その地点の標高が高くなつた要因について述べた文として最も適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えよ。

- ア 褶曲運動により、隆起して形成された。
- イ 断層活動により、古い山地が再隆起した。
- ウ 周辺が侵食され、硬い岩盤が取り残された。
- エ マグマの噴出により、火山が形成された。

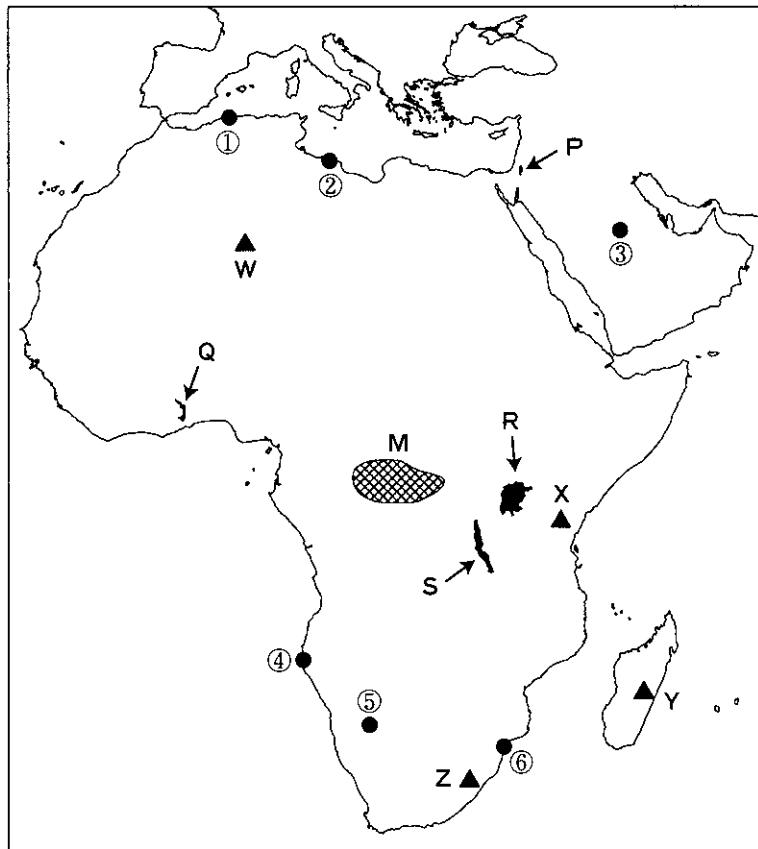


図2

問4 下線部(c)に関して、上の図2中の湖沼P～Sのうちから、湖面標高が最も低いものを選び、記号で答えよ。また、その湖沼の成因について述べた文として最も適切なものを、次のカ～ケのうちから1つ選び、記号で答えよ。

- カ 火山の火口に水が溜まって形成された火口湖である。
- キ プレートの境界にあたる地溝に水が溜まって形成された断層湖である。
- ク 氷河による侵食でできた凹地に水が溜まって形成された氷河湖である。
- ケ ダムにより河川を堰き止めて人工的に建設されたダム湖である。

問5 下線部(d)に関して、前ページの図2中の地域Mにみられる植生の特徴を、20字以内で述べよ。

問6 下線部(e)に関して、前ページの図2中の地点①～⑥のうちから、砂漠気候区に位置しないものを2つ選び、番号で答えよ。

問7 下線部(f)に関して、次の文章(1)・(2)は、西アジア・アフリカの産油国について述べたものである。(1)・(2)に該当する国を、下の図3中のA～Fのうちから1つずつ選び、その記号と国名を答えよ。

- (1) 南東部の油田地帯に居住する民族が独立を宣言し、激しい内戦となつた。内戦終結後の1971年にOPECに加盟し、世界有数の原油輸出国となつた。
- (2) 長期にわたる内戦が2002年に終結して以降、油田開発が進み、2007年にOPECに加盟した。輸出額の90%以上を原油に依存し、その最大の輸出先は中国である。

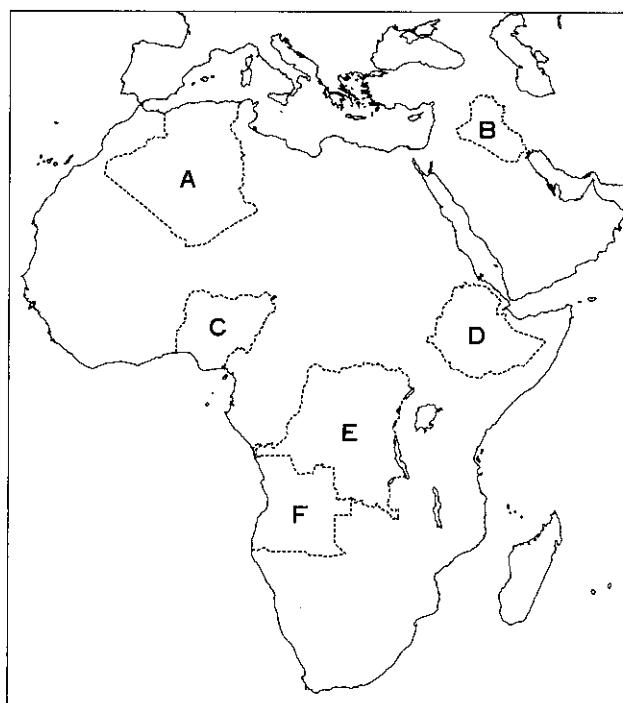


図3

- 問8 下線部(g)に関して、下の図4は、アフリカにおける地下資源の产地を示したものである。凡例  
サ～ソで示された資源名を、次の①～⑤のうちから1つずつ選び、番号で答えよ。
- ① 金 ② 石炭 ③ ダイヤモンド ④ 銅鉱 ⑤ ボーキサイト

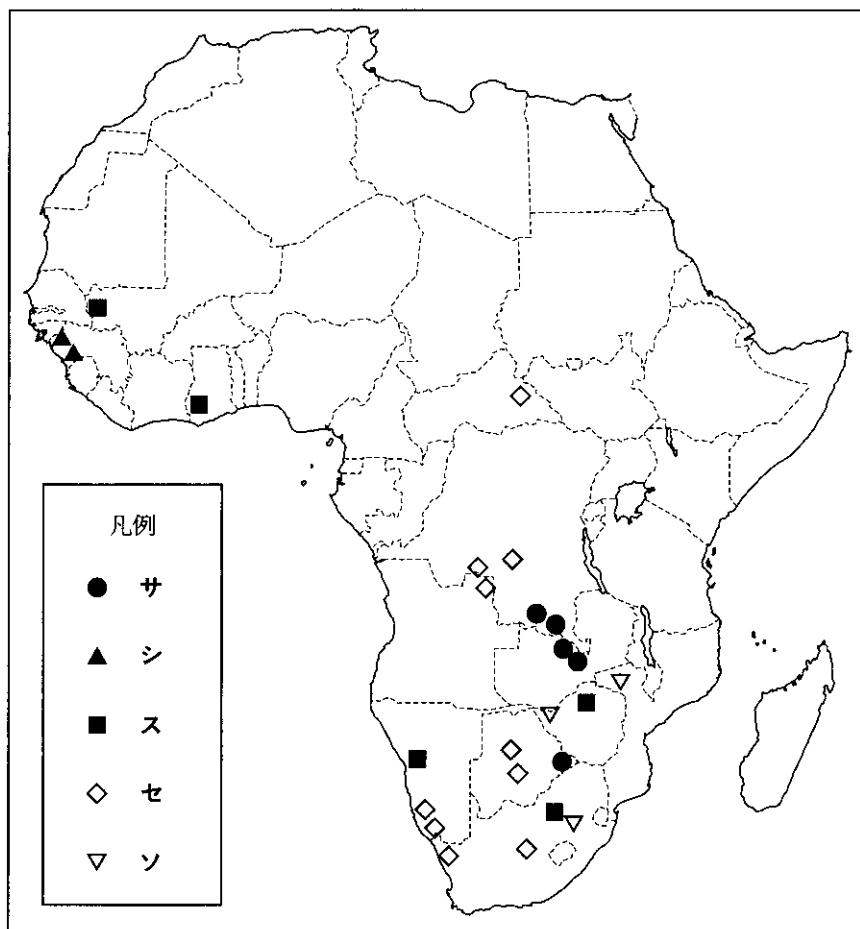


図4

3 農林水産業に関するA・Bの問い合わせに答えよ。

(配点 25点)

A 次の図1中のア～ウは3つの農業地域を示したものである。これらの地域で行われる農業について述べた下の文章を読み、後の問い合わせ(問1～4)に答えよ。



図1

ア 年降水量( a ) mm 前後の比較的冷涼な地域で、( あ )の大規模生産を行う( b )生産性のきわめて高い農業である。降水量が不足する地域では、地下水をくみ上げ、1 とよばれる大規模な装置で散水する灌漑もみられる。

イ 夏のモンスーンの影響で年降水量( c ) mm 以上となる地域を中心に( い )を生産する( d )集約的な農業で、( e )生産性が高い。灌漑用水が十分に得られる肥沃な沖積平野のほか、丘陵地や山地の斜面に造成されている2 でも( い )作が行われている。

ウ 飼料作物や牧草を栽培し乳牛を飼育し、牛乳やバター、チーズなどを生産する農業で、〔 × 〕地域で発達し、大消費地の近くにみられることが多いが、19世紀後半の3 の発明で、大消費地から離れた南半球にも成立した。

問1 空欄( a )～( e )に該当する語句・数値を、次の①～⑧からそれぞれ1つずつ選び、番号で答えよ。ただし、同じ番号を何度も答えるてもかまわない。

- ① 労働 ② 土地 ③ 資本 ④ 技術  
⑤ 250 ⑥ 500 ⑦ 1000 ⑧ 1500

問2 空欄 **1** ~ **3** に該当する最も適切な語句を答えよ。

問3 次の表1は、空欄( a )・( i )に該当する作物の輸出上位国の輸出量と生産量を示したものである。表1中のm・nに該当する国名を答えよ。

表1

( a )			
順位	国名	輸出量	生産量
1	アメリカ合衆国	3,279	5,441
2	m	2,035	3,802
3	オーストラリア	1,766	2,741
4	カナダ	1,634	2,526
5	ロシア	1,519	5,624

( i )			
順位	国名	輸出量	生産量
1	タイ	1,067	3,459
2	n	711	4,240
3	インド	500	15,790
4	パキスタン	341	919
5	アメリカ合衆国	317	839

単位は万t。統計年次は2011年。FAOSTATにより作成。

問4 空欄( x )には、北半球でこの農業形態がみられる地域に共通する特徴が述べられている。空欄に該当する特徴を次の語句をすべて使用して、25字以内で答えよ。

気候 土壤 穀物

B 林業と水産業に関する次の問い合わせ（問5～6）に答えよ。

問5 次の表2は、木材の年間伐採高が1億m<sup>3</sup>以上（2011年）の8か国の木材伐採高とその内訳、国土面積に占める森林率について示したもので、A～Eはアメリカ合衆国、インド、エチオピア、カナダ、ブラジルのいずれかである。A、C、Dに該当する国名を答えよ。

表2

国	木材伐採高 (万m <sup>3</sup> )	うち用材の 割合 (%)	うち針葉樹の 割合 (%)	森林率 (%)
A	33,197	7.0	3.7	20.9
B	32,443	87.5	61.0	31.0
中国	28,847	35.7	48.8	21.8
C	28,402	49.3	18.6	60.8
ロシア	19,700	77.8	72.0	47.3
D	14,507	97.8	82.1	31.1
インドネシア	11,799	51.4	0.2	49.2
E	10,554	2.8	6.8	11.0

統計年次は2011年。「世界国勢団会」により作成。

問6 世界と日本の水産業について述べた次の文章中の下線部①～⑤のうちから、誤っているものを2つ選び、その番号と誤りに代わる正しい語句を答えよ。

世界の主な漁場は、大陸棚やバンクなどの浅い海域、暖流と寒流が出合う潮流が発生する海域、沖に向かって卓越風がみられる海域などに発達している。これらの海域では、深層に多い栄養分を上層に運ぶ湧昇流が起きやすく、餌となるプランクトンの繁殖が盛んため多くの魚が集まる。日本近海もこうした条件をそなえるため、古くから漁業が盛んである。日本は世界の海域にも進出し、世界一の漁獲量を誇っていたが、1970年代に石油危機と200海里問題を背景に沖合漁業が衰退し、1990年代にはいわしの不漁などから漁獲量は大きく低下し、近年は中国が世界一の漁獲量をあげている。一方、日本では水産物の輸入が拡大したが、水産資源の枯渇の問題や、輸入先での養殖場の開発に伴う環境への問題などが生じ、国際的な対応が迫られている。

地理Bの問題は次のページに続く。

#### 4 北アメリカに関する次の文章を読み、後の問い合わせ（問1～8）に答えよ。

(配点 25点)

北アメリカの先住民は、氷期にユーラシア大陸から移動したモンゴロイドであるが、現在の住民の多くはヨーロッパ系のコーカソイドや彼らと他の人種との混血である。ヨーロッパ系は、X

人が北東から、Y人が東から、Z人が南から入植した。

アメリカ合衆国は、Y領であった東部の（あ）州が建国した国で、その後、他国からの割譲・購入・併合などで領土を拡大した。現在、（い）州からなる広大な国土は鉄道・道路網や航空路などで結ばれ、国内の輸送量は貨物、旅客とも世界最大級である。人口は3億人を超え、奴隸貿易で強制移住させられたアフリカ系が1割以上を占めるほか、ヒスパニックやアジア系の移民も増えている。カナダはY系のほか、（A）州を中心にX系の住民も多く、それぞれの言語を公用語とするだけでなく、近年は先住民の（a）の自治を尊重し、彼らの準州を設置するなど、（b）政策を実施している。メキシコは先住民の比率が高いが、最も多いのは先住民とヨーロッパ系の混血である。

アメリカ合衆国が急速な工業化を果たしたのは18世紀後半から20世紀初頭である。北東部の五大湖周辺では、（B）湖西方のメサビ鉄山と（ア）山脈周辺の炭田を背景に、（C）などで鉄鋼業が発達し、その後、自動車工業などの各種工業も発展した。1970年代以降は、新興国の台頭や産業構造の転換が進むなかで、北東部の工業地域は衰退し、代わって北緯37度以南の（イ）とよばれる地域の発達がめざましくなった。カリフォルニア州のサンノゼ近郊は（ウ）とよばれる電子工業の集積地となり、また、メキシコ湾岸に位置する都市（D）では宇宙産業や石油化学工業が発達している。

アメリカ合衆国では、ボストンからニューヨークをへてワシントンに至る大西洋岸の大都市が、現在も同国の政治・経済の中心であり、五大湖周辺の都市も、産業構造の高度化による再生を図っている。カナダでは、人口最大都市の（E）付近からアメリカ合衆国との国境となっているナイアガラの滝までの地域が、商工業・金融の中心として発展がめざましい。メキシコでは、アメリカ合衆国との国境に近い地域の工業化が進み、日本企業の進出も多い。この3か国は1990年代半ばに（エ）を結成し、域内の結びつきを強めるとともに、東アジアをはじめとする環太平洋地域との経済的関係を深めている。

問1 空欄X～Zのうち、X・Zに該当する国名を答えよ。

問2 空欄（あ）・（い）に該当する数値を答えよ。

問3 空欄( a )・( b )に該当する語句として最も適切なものを、次の①～⑥のうちから

1つずつ選び、番号で答えよ。

- ① アボリジニー ② イヌイット ③ サーミ ④ セグリゲーション  
⑤ 多文化主義 ⑥ 同化

問4 空欄( A )～( E )に該当する地名として最も適切なものを、次の①～⑩のうちから

1つずつ選び、番号で答えよ。

- ① アトランタ ② オンタリオ ③ ケベック ④ スペリオル  
⑤ デトロイト ⑥ トロント ⑦ ヒューストン ⑧ ヒューロン  
⑨ ピッツバーグ ⑩ モントリオール

問5 ( ア )～( エ )に該当する地名・用語を答えよ。ただし、( エ )はアルファベットの略称で答えよ。

問6 下線部(1)に関して、次の表1は、アメリカ合衆国、イギリス、ドイツ、日本、フランスの国内旅客輸送と国内貨物輸送について、それぞれの輸送機関別分担率を示したものである。アメリカ合衆国と日本に該当するものを、表1中の①～⑤のうちから1つずつ選び、番号で答えよ。

表1

		①	②	③	④	⑤
旅 客	鉄 道	28.7	11.2	9.4	7.9	0.1
	自 動 車	65.6	87.7	90.0	91.0	88.4
	航 空	5.5	1.1	0.6	1.1	11.5
貨 物	鉄 道	3.9	14.9	23.2	12.9	39.1
	自 動 車	63.9	72.2	59.4	80.4	32.3
	船 舶	32.0	4.0	13.5	0.1	12.2
	航 空	0.2	0.4	0.2	0.4	0.3

旅客が人キロベース、貨物がトンキロベースでの総輸送量（その他の輸送機関を含む）に対する割合（%）。

統計年次は2009年（アメリカ合衆国の貨物については、直近公表年の数値を用いて算出）。

国土交通省『交通関係統計資料集』により作成。

問7 下線部(2)に関して、このように大都市が帯状に連なる都市化地域を何というか。カタカナで答えよ。

問8 下線部(3)に関して、次の表2は、アメリカ合衆国、カナダ、メキシコの1990年と2012年における輸出入上位国を示したもので、表中のP～Rはこれら3か国のいずれか、S～Uは韓国、中国、日本のいずれかである。メキシコと日本に該当するものを、表2中のP～Uのうちから選び、記号で答えよ。

表2

Pの輸出入上位国			
輸 出		輸 入	
1990年	2012年	1990年	2012年
Q 75.0	Q 74.5	Q 64.6	Q 50.6
S 5.5	T 4.3	S 7.0	T 11.0
イギリス 2.4	イギリス 4.1	イギリス 3.6	R 5.5
西ドイツ 1.6	S 2.3	西ドイツ 2.8	S 3.3
T 1.1	R 1.2	フランス 1.8	ドイツ 3.1

Qの輸出入上位国			
輸 出		輸 入	
1990年	2012年	1990年	2012年
P 21.1	P 18.9	S 18.1	T 19.0
S 12.4	R 14.0	P 18.1	P 14.0
R 7.2	T 7.2	R 5.9	R 12.0
イギリス 6.0	S 4.5	西ドイツ 5.6	S 6.4
西ドイツ 4.8	イギリス 3.5	イギリス 4.0	ドイツ 4.7

Rの輸出入上位国			
輸 出		輸 入	
1990年	2012年	1990年	2012年
Q 70.2	Q 77.8	Q 67.1	Q 50.1
S 5.5	P 2.9	西ドイツ 5.6	T 15.4
スペイン 5.5	スペイン 1.9	S 4.3	S 4.8
フランス 2.1	T 1.5	フランス 2.4	ドイツ 3.6
オランダ 1.3	ブラジル 1.5	イギリス 2.0	U 3.6

数値は、各国の輸出総額・輸入総額に対する割合 (%)。

UN Comtrade Database により作成。

政治・経済の問題は次ページから始まる。

# 政治・経済

## 1 次の文章を読んで、後の問い合わせ（問1～9）に答えよ。（配点 20点）

2013年12月、南アフリカ共和国の元大統領ネルソン・マンデラ氏が亡くなった。彼は、黒人の権利獲得運動を指導したために反逆罪などで終身刑に処されたが、27年に及ぶ獄中生活を経て1990年に釈放され、その後、全人種による選挙を経て開かれた制憲議会によって同国初の黒人大統領に選ばれた。マンデラ氏と南アフリカ共和国の人々が「自由への長い道」を身をもって体験したように、今日、私たちが享受している各種の自由や権利の一つひとつが、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果にはかならない。近代的な自由や権利も、市民革命期に絶対王政との闘いを通じて勝ち取られ、各種の人権宣言などに基本的人権として掲げられたのである。市民革命以降、19世紀までの国家では、国家の役割は国防と治安維持など必要最小限のものにとどめるべきだという消極的な国家観が支配的であり、憲法で保障された人権は自由権を中心とするものであった。

しかし、資本主義経済の発展に伴って、貧富の格差の拡大や慢性的な失業の増大など深刻な社会問題が発生するようになると、こうした社会問題を解決するために国家は積極的な役割を果たすべきだとする国家観が登場した。1919年に制定されたドイツの 1 憲法は、このような国家観に基づいて、経済的自由権に対して政策的制約を設けるとともに、新たに社会権を規定した最初の憲法であった。第二次世界大戦後、こうした現代型憲法の規定が各国で採用されるようになったが、急速な経済の発展に伴って生じる諸問題を解決するためには、従来の憲法では規定されていなかった人権を保障する必要があると考えられるようになった。また、ヒト・モノ・カネ・情報などが国境を越えて交流する国際化が進展するなかで、人権問題を一国だけで解決することが困難となり、人権の国際的保障の必要性もますます高まっている。

このように人権の保障については、今なお多くの課題が存在している。パキスタンで、女性の教育を受ける権利を主張するために、イスラム原理主義武装勢力による銃撃を頭部に受けながら奇跡的に回復したマララ・ユスフザイさんが、16歳の誕生日にあたる2013年7月12日に国連本部で行った演説は、世界の多くの人々の心に響く内容であった。彼女は、「貧困・無知・不正義・人種差別・基本的人権の剥奪は男女を問わず直面している課題」であると指摘し、自分は「声なき声のため、権利のために戦っている人々のため、平和に生きる権利のため、尊厳をもって扱われる権利のため、機会の平等の権利のため、教育を受ける権利のために声を上げる」のだと述べた。そして、何よりもまず教育を受ける権利を具体的に保障することが重要であり、教育こそが世界を変えるための最も強力な武器になると訴えた。そこには、南アフリカ共和国で人権確立のために戦い続けた故マンデラ氏と同じ思いが込められているといえよう。

問1 文章中の空欄 1 に入れるのに最も適当な語句を答えよ。

問2 下線部④に関連して、南アフリカ共和国で1991年6月まで続いた有色人種の差別・隔離政策を何というか。カタカナ7字で答えよ。

問3 下線部⑤に関連して、17~18世紀に欧米諸国で起きた市民革命を、年代の古い順に並べたものとして最も適当なものを、次の①~⑥のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① イギリス名誉革命—フランス革命—アメリカ独立戦争
- ② イギリス名誉革命—アメリカ独立戦争—フランス革命
- ③ フランス革命—イギリス名誉革命—アメリカ独立戦争
- ④ フランス革命—アメリカ独立戦争—イギリス名誉革命
- ⑤ アメリカ独立戦争—イギリス名誉革命—フランス革命
- ⑥ アメリカ独立戦争—フランス革命—イギリス名誉革命

問4 下線部⑥について、次のA・Bの文章に関する下の(1)~(3)に答えよ。

A あらゆる政治的結合の目的は、天賦にして不可侵の人権を維持するにある。その権利とは、自由・財産所有・安全・および圧制に対する抵抗である。あらゆる主権の原理は、本来、国民のうちにある。いかなる団体、いかなる個人といえども、明白に国民のうちから出ない権威を行使できない。

B すべての人は平等に創られていること。その創造者によって、一定の譲るべからざる権利を与えられていること。それらのなかには生命、自由及び幸福の追求が数えられること。そして、これらの権利を確保するために、人々の間に政府が設けられ、その正当な権力は、被治者の同意に基づくこと。

(1) 上のA・Bの文章は、それぞれ異なる人権宣言の一節を示したものである。それぞれが盛り込まれた人権宣言の名称を、次のア~カのうちから一つずつ選び、記号で答えよ。

- |             |                         |
|-------------|-------------------------|
| ア イギリスの人民憲章 | イ ロシアの勤労し搾取されている人民の権利宣言 |
| ウ アメリカの独立宣言 | エ イギリスの大憲章（マグナ・カルタ）     |
| オ フランスの人権宣言 | カ イギリスの権利章典             |

(2) A・Bの文章の背景にある、政治権力の正統性を人民の同意に求める説を何というか。漢字5字で答えよ。

(3) Bの文章には、『市民政府二論』（『統治二論』）を著した17世紀の思想家の強い影響がみられる。その思想家を答えよ。

問5 下線部⑦に関して、19世紀ドイツの社会主義者ラッサールは、そのような国家を何と呼んだか。漢字4字で答えよ。

問6 下線部⑧に関連して、自由権が「国家からの自由」といわれるのに対して、社会権は「国家による自由」といわれるのはなぜか。自由権と対比しながら、その理由を60字以内で答えよ。

**問 7** 下線部⑦に関連して、日本国憲法に規定されていない「新しい人権」にあてはまらないものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 平穏に請願する権利 ② 知る権利 ③ プライバシーの権利 ④ 環境権

**問 8** 下線部⑧に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 国連総会で採択された世界人権宣言は、すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準を定めたもので、すべての国に対して法的拘束力を持つ。
- ② 國際人権規約は、経済的・社会的及び文化的権利に関する国際規約と市民的及び政治的権利に関する国際規約からなっており、日本は両規約とも留保なしに批准している。
- ③ 人種差別撤廃条約は、差別を受けた個人が直接に国連の人種差別撤廃委員会に救済措置を求める制度を定めている。
- ④ 子どもの権利条約は、18歳未満の者を権利行使の主体としてではなく、保護・管理すべき対象として捉え、その健全な育成を図ることを目的にしている。

**問 9** 下線部⑨に関連して、あらゆる障害者的人間的尊厳と諸権利を保障する目的で、2006年に国連総会で採択され、日本も2014年1月に批准した人権条約を答えよ。

政治・経済の問題は次のページに続く。

## 2 次の文章を読んで、後の問い合わせ（問1～9）に答えよ。（配点 20点）

世界の国々の政治体制は、その国の成立事情や歴史によりさまざまである。たとえば、市民革命を経験し、絶対君主の支配を打ち破った欧米諸国<sup>(①)</sup>の政治制度には、法の支配と権力分立制が不可欠な要素として採用されている。その権力分立制は、立法府と行政府とのかかわり方の違いから議院内閣制と大統領制とに大別できる。

議院内閣制の母国であるイギリスでは、国民によって選挙された議員で構成される下院（庶民院）において多数を占めた政党が内閣を組織するが、内閣が下院の信任を失った場合には、内閣は1 するか、下院を解散して国民にその信を問うかを選択する。このように議会（とくに下院）の勢力を反映して内閣が組織され、議会の信任の下に内閣が存立するという仕組みが議院内閣制の特徴である。

一方、大統領制をとるアメリカは、厳格な三権分立制を採用している。アメリカでは大統領と議員は国民の選挙によって別々に選出され、両者は独立した関係にある。そのことは、議会が大統領に対する不信任決議権を持たず、大統領も議会解散権を持たないことなどに示されている。大統領は国家元首であると同時に行政府の長であり、条約の締結権や陸海空三軍の最高司令官としての地位を有している。また、大統領の議会に対する権限として、議会を通過した法案に対する2 権、予算や立法措置を勧告するための3 送付権などがある。さらに、裁判所は議会が制定した法律などが憲法に適合するかどうかを審査する権限を有している。

なお、社会主義の体制をとる国家では、イギリスやアメリカのような権力分立制は採用されておらず、人民の代表からなる機関に国家権力を集中させる権力集中制（民主集中制）が採用されている。

問1 文章中の空欄 1 ~ 3 に入れるのに最も適当な語句をそれぞれ答えよ。

問2 下線部④に関連して、次の(1)～(3)に答えよ。

- (1) 各国の政治制度や政治情勢についての記述として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。
- ① フランスでは、アメリカと同じく大統領制が採用されており、内閣は設置されていない。
  - ② 韓国では、2012年の大統領選挙で、初めて女性の大統領が選出された。
  - ③ ドイツでは、大統領は象徴的な存在にすぎず、実質的には議院内閣制が採用されている。
  - ④ ミャンマーでは、民主化運動の指導者アウン・サン・スー・チーの軟禁が解かれるなど民主化への動きが生じている。

- (2) 2010年末から北アフリカや中東諸国で「アラブの春」と呼ばれる一連の民主化運動が起こったが、これに関連する次の文章中の下線部a～cのうち、誤っているものすべて選び、記号で答えよ。

「アラブの春」の発端はチュニジアで勃発したジャスミン革命であるが、同国では23年間続いたベナリ政権が倒された。この動きはエジプトやリビアなどにも波及し、エジプトではムバ巴拉ク政権が、リビアではカダフィ政権が倒れるなど、強権的な支配を続けてきた長期政権が次々と民衆の手によって倒された。また、「アラブの春」の影響はその他の国にも及んだ。たとえば、南スーダンではアサド政権と反体制勢力との間で内戦状態が続き、多くの犠牲者が出了。

- (3) インドネシアやフィリピンなどでは、かつて、経済開発と経済成長を優先して国民の権利や自由を抑圧する強権的・独裁的な体制が見られた。このような政治体制を一般に何というか。

問3 下線部⑥に関連して、フィルマーやボシュエらが説いた絶対王政を支える政治理論を何というか。

問4 下線部⑦に関連して、17世紀イギリスのある裁判官は、国王ジェームズ1世による裁判干渉を諫めるために、「国王といえども神と法の下にある」という13世紀の著名な法律家ブラクトンの言葉を引用して「法の支配」を説いた。この裁判官を答えよ。

問5 下線部⑧に関連して、イギリスの政治についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 世界で最初に自然権を盛り込んだ成文憲法を制定した。
- ② 下院議員選挙には小選挙区制、上院議員選挙には比例代表制が導入されている。
- ③ 第二次世界大戦後は単独内閣が成立したことなく、今日まで連立内閣が続いている。
- ④ 野党第一党はシャドー・キャビネット（影の内閣）を組織し、次の政権担当に備える。

問6 下線部⑨に関連して、アメリカの政治制度として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 大統領は間接選挙で選ばれ、任期は4年で、三選が禁止されている。
- ② 連邦議会は大統領や各省長官を弾劾することができる。
- ③ 大統領の所属政党と議会の多数党が異なる場合がある。
- ④ 連邦議会での実質審議は、委員会ではなく本会議において行われる。

問7 下線部⑩に関連して、『法の精神』を著し、三権分立を説いた18世紀フランスの政治思想家を答えよ。

問8 下線部⑪に關連して、アメリカの裁判所が有するこのような権限を何というか。

問9 下線部⑫に關連して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) 『国家と革命』を著し、ロシア革命を指導した人物を答えよ。
- (2) 中国において、憲法により国家権力の最高機関と位置づけられているものを答えよ（略称でもよい）。

**③** 次の文章を読んで、後の問い（問1～10）に答えよ。（配点 20点）

日本国憲法は、「地方公共団体の組織及び運営に関する事項は、1に基いて、法律でこれを定める」（第92条）として、大日本帝国憲法下の中央集権的な地方制度を改め、地方分権の考え方に基づいた新たな地方制度をめざした。<sup>④</sup>しかし、実際には、地方公共団体は自主的に処理しうる事務<sup>⑤</sup>の範囲を制限されており、また財政的な自立も困難であったため、日本国憲法がめざした理想からはほど遠い状況におかれていた。そこで、こうした状況を改善するために、1999年に2法が制定され、地方分権改革が実施されたのである。<sup>⑥</sup>

この改革によって、地方分権が一定の前進をみたことはたしかであるが、日本国憲法のいう「1」を実現するためには、事務と財政の両面において、地方公共団体の自立性を一層高めていく必要がある。そのためには、まず、事務の面では、国が担うべき役割<sup>⑦</sup>を可能な限り国家の存立にかかわる事務や、国家的な視点で実施しなければならない事項に限定すべきであろう。また、財政の面でも、これまで以上に国と地方の税源配分を見直すなど、地方公共団体の自立を図るようにしていく必要がある。

そして、「1」を実質化するために何よりも重要なのは、地域住民の意思<sup>⑧</sup>を、その地域の行政に反映させることである。この点、地域の重要な問題をめぐる住民投票<sup>⑨</sup>の是非がしばしば議論となってきたが、間接民主主義の原理を軽視するものであるなどとして、住民投票の実施に消極的な首長や地方議会も少なくない。しかし、地域行政のあり方と住民の意思の乖離<sup>⑩</sup>が指摘される地方公共団体もあることから、その意思決定過程に住民の意思を反映させるよい機会と捉え、住民投票を「活かす」という発想が重要ではないだろうか。

こうした地方分権のあり方をめぐる議論は、たんに特定の地域のあり方にかかわるだけでなく、国のあり方<sup>⑪</sup>にも大きな影響を与える。だからこそ、これからの方針改革の方向性については、これまで以上に国民的な議論を活発化させていく必要があるだろう。

問1 文章中の空欄1・2に入れるのに最も適当な語句をそれぞれ答えよ。

**問2** 下線部④に関連する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 住民は一定数の署名をもって議会に首長の解職を請求することができ、議会において過半数の同意があれば首長は解職される。
- ② 住民は一定数の署名をもって首長に条例の制定を請求することができ、住民投票において過半数の同意があればその条例は成立する。
- ③ 地方公共団体の議会は首長に対する不信任決議権を有し、出席議員の3分の2以上の多数で不信任案を可決すれば首長はただちに辞職しなければならない。
- ④ 地方公共団体の首長は議会が可決した議案を再議に付することができるが、議会が出席議員の3分の2以上の多数でその議案を再可決すれば成立する。

**問3** 下線部⑤に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) 行政運営の公正性や透明性の確保などを目的として1993年に制定された法律を答えよ。
- (2) 国の行政機関が規則や政令、省令などを制定する際、原案を事前に公表して国民から意見や情報提供を求め、意見をくみ取った上で最終的な決定を行う意見公募手続を、一般に何というか。カタカナで答えよ。

**問4** 下線部⑥に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) 地方自治を阻害しているとして批判が強かった機関委任事務は廃止され、地方事務は法定受託事務と A に再編された。空欄 A に入れるのに最も適当な語句を答えよ。
  - (2) 地方制度の改革をめぐる記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。
- ① 事務処理に関する国との関与に不服がある地方公共団体は、国地方係争処理委員会に申立てを行うことができるようになった。
  - ② 地方住民の意思を地方政治に反映させるため、定住外国人に対して、地方公共団体の首長や議員の選挙権および被選挙権が付与された。
  - ③ 地方公共団体は、地方税法に具体的な規定のない税を自由に創設できるようになった。
  - ④ 各都道府県は、国との事前協議を経ることなく、独自の判断に基づいて地方債を発行することができるようになった。

**問5** 下線部⑦に関連して、地方公共団体間の財政格差の是正を目的として、国が国税の一部を地方公共団体に対して使途を限定せずに交付する資金を何というか。

問6 下線部⑥に関連して、2001年以降に実施された、特殊法人などの改革をめぐる記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 日本郵政公社が民営化され、政府が保有する株式はすべて民間に売却された。
- ② 業務の効率化を目的として、国立の美術館や研究所、病院などが、独立行政法人化された。
- ③ 日本専売公社、日本電信電話公社、日本国有鉄道が民営化され、それぞれ、J T、NTT、JRとなった。
- ④ 経営資源の効率化を目的として、日本道路公団、首都高速道路公団など複数の道路公団が統合された。

問7 下線部⑦に関連して、主著『近代民主政治』において、地方自治を「民主主義の学校」にたとえ、住民が民主政治を運営していく能力や方法を身につける重要な場であると説いたイギリスの政治学者は誰か。

問8 下線部⑧に関連して、1996年に、米軍基地の整理縮小の是非を問う住民投票を実施した都道府県名を答えよ。

問9 下線部⑨に関連して、行政に対する市民の苦情を受けつけ、行政の活動が適正に行われているかどうかを監視・調査し是正勧告などを行う制度を、一般に何というか。カタカナで答えよ。

問10 下線部⑩に関連して、中央省庁の高級官僚などが、退職後に特殊法人や民間企業などに再就職することを、一般に何というか。3字で答えよ。

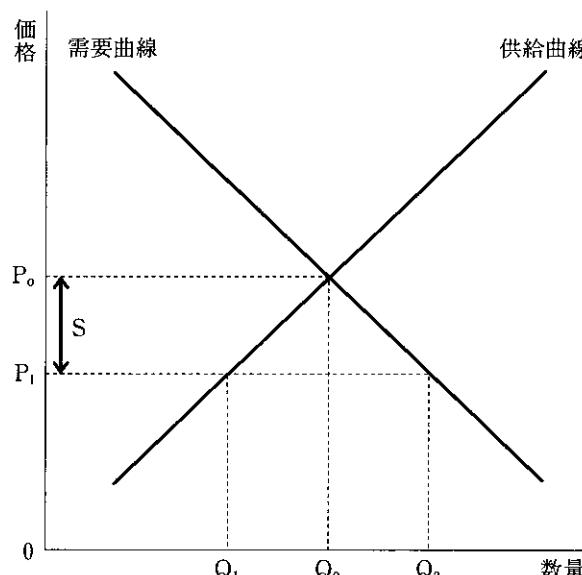
政治・経済の問題は次のページに続く。

**4** 次の文章を読んで、後の問い合わせ（問1～9）に答えよ。（配点 20点）

市場機構は、資源配分を効率的に行うことのできる仕組みである。市場機構が自律的に働くようにするためには、政府の介入を避けなければならない。しかし、実際にはさまざまな政策課題の実現のために政府の介入が行われているし、市場機構も万能ではないので、そのような介入が不可欠な場合もある。⑥⑦

たとえば、貿易自由化と補助金の効果について考えてみよう。図に示すように、ある商品の国内価格が  $P_0$ 、国際価格が  $P_1$  だったとする。この商品の貿易を自由化すれば、価格は  $P_1$  に下がり、需要量は 1 となり、その需要量は国内生産のほか輸入でまかなわれることになる。したがって、消費者は今までよりも安い価格  $P_1$  でより多くの商品を買うことができる。しかし国内の企業は、これまでよりも生産量が減って打撃を受けるため、政府が国内企業に対してこの商品 1 単位あたり  $S$  の補助金を交付したとする。その結果、国内の販売価格が下がっても、国内生産量は減少しない。なぜなら、企業が実際に手に入れる商品 1 単位あたりの価格は、販売価格  $P_1$  と補助金  $S$  を合計した 2 なので、企業はこれまで通りの供給量を維持できることになり、従業員や株主にも不利益が及ぶことはない。こう考えていくと、消費者も企業もその他の利害関係者も、すべて利益を得られるようにみえる。ところが、実際にはこの過程で交付された補助金は、企業や国民が支払う税金によってまかなわれているので、社会的に余分なコスト負担をしていることになるのである。しかも、企業は割高な国内価格を下げるためのコストダウンなどの努力を怠るかもしれない。①

もちろん、これだけのコストをかけても長期的にはこの産業を保護することがその国の利益になるかもしれないし、景気変動を防いで経済の安定と成長をもたらすことが差し迫った課題となっているかもしれない。現実の経済政策は、規制緩和などによってもたらされる市場機構の効率性と、政府の介入によってもたらされる政策的効果の両方をにらみながら進められているのである。



問1 文章中の空欄 **1** · **2** に入る記号の組合せとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選び、番号で答えよ。

1	2
---	---

- ①  $Q_0$        $P_0$
- ②  $Q_1$        $P_0$
- ③  $Q_2$        $P_0$
- ④  $Q_0$        $P_1$
- ⑤  $Q_1$        $P_1$
- ⑥  $Q_2$        $P_1$

問2 下線部⑤に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) 『諸国民の富（国富論）』を著して、市場機構を分析し、自由放任主義を説いた経済学者を答えよ。
- (2) 市場機構が働きにくくなる寡占市場において、複数の企業が価格や生産量・販路などについて協定を結ぶ行為を何と呼ぶか。

問3 下線部⑥に関連して、『雇用・利子および貨幣の一般理論』を著して、政府の介入による有効需要の創出を説いた経済学者を答えよ。

問4 下線部⑦に関連して、「市場の失敗」に関する次の文章中の空欄 **3** · **4** に入れられるのに最も適当な語句をそれぞれ答えよ。

市場を通じて供給できない財として、道路や公園などの **3** 財がある。このような財は、対価をとることが難しいので、政府が財政を通じて供給しなければならない。また、企業が有害物質の排出を防ぐ費用などを負担しないため、住民に健康被害が生じたり、自治体が公害処理費用を負担したりするなど、他の経済主体にコスト負担が転嫁されるという **4** 不経済が生じることもある。

問5 下線部⑧に関連して、日本の企業に関する次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) 株式会社で、業務執行の意思決定を行うなど、経営を担当する機関として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。
  - ① 取締役会    ② 株主総会    ③ 監査役    ④ 有限責任社員
- (2) 企業の社会的責任（CSR）に関連する取組みの一つで、企業がさまざまな文化活動を援助することを表す語句として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。
  - ① ディスクロージャー    ② コンプライアンス    ③ メセナ
  - ④ コーポレート・ガバナンス

**問6** 下線部⑥に関連して、従業員には労働の対価として賃金が支払われるが、株主には出資の対価として何が支払われるか。

**問7** 下線部⑦に関連して、一般的に企業がコストダウンを図るために採用する方法として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 国内の工場を閉鎖し、人件費や法人税の安い国に工場を移転する。
- ② 国産品に比べて安い部品や原料を、海外から輸入する。
- ③ 金利負担を減らすために、資金の借入れを減らして自己資金を増やす。
- ④ 派遣社員や契約社員などの非正規労働者の雇用を減らし、正社員に切り替える。

**問8** 下線部⑧に関連して、景気変動の種類を表す次のA～Cと、その原因や周期を説明したア～ウの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、番号で答えよ。

A キチンの波

B コンドラチエフの波

C ジュグラーの波

ア 在庫投資の増減を主な原因とする、約40か月周期の短期循環

イ 設備投資の増減を主な原因とする、約10年周期の中期循環

ウ 技術革新を主な原因とする、約50年周期の長期循環

- ① A—ア B—イ C—ウ
- ② A—ア B—ウ C—イ
- ③ A—イ B—ア C—ウ
- ④ A—イ B—ウ C—ア
- ⑤ A—ウ B—ア C—イ
- ⑥ A—ウ B—イ C—ア

**問9** 下線部⑨に関連して、規制緩和の具体例として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 稲作の減反政策の廃止
- ② 医薬品のインターネット販売の禁止
- ③ 高校授業料の一率無償化
- ④ 原子力発電所の安全審査の強化

政治・経済の問題は次のページに続く。

**5** 次の文章を読んで、後の問い合わせ（問1～8）に答えよ。（配点 20点）

第二次世界大戦後、諸国家は経済的な結びつきを深め、現在では財貨・サービスや資本などの生産要素が国境を越えて移動する傾向が急速に強まっている。こうした経済の **1** 化は、先進国と開発途上国との経済格差や国内における貧富の格差を拡大させたとして批判されることも多いが、そうした見方は一面的なものになりやすい。イギリスの経済学者 **2** が説いたように、自由貿易は、国際分業の進展を通じて、貿易を行う当事国に利益をもたらすことになるし、また、自由な資本の移動は、開発途上国の経済成長を促す。したがって、財貨・サービスや資本の自由な移動によって、基本的には先進国と開発途上国との間の格差は縮小に向かうと考えられる。このことは、アシアN I E SやB R I C Sと呼ばれる新興国における経済成長を見れば明らかである。

たしかに、現実には、国内での所得格差が拡大している国も多い。たとえば、タイでは、経済成長に伴って国内の格差が拡大し、富裕層・中間層と低所得者層の政治的な対立が過激なデモにまで発展している。また、中国では、1978年の **3** 政策の採用以降、約30年にわたって10%近い経済成長率を実現してきたが、沿海部と内陸部の経済格差や階層間の経済格差が急激に拡大し、それが各地で頻発する暴動や少数民族による過激な抗議行動につながっている。しかし、これらの国の格差は、経済の **1** 化だけでなく、国内制度の欠陥に由来するところが大きいのである。

とはいっても、石油などの資源をもたない開発途上国の中には、多くの国民が飢餓に瀕し、人間の基本的な欲求（**4**）を満たす水準を下回る生活を送っている国もある。そのような国は、自由競争の前提となる条件が実現していないため、自由経済の恩恵を受けることができないのである。その原因としては、植民地支配の下での **5** 経済が経済成長の阻害要因となってしまったことや、地域紛争や長期間にわたる内戦などによって教育制度や交通・通信などの **6**（社会資本）の整備が遅れたことなどが指摘されている。このような場合、自由な競争にゆだねるだけでは問題は解決しない。そこで、今日では、国連などの国際機関を通じた支援や先進国の援助によって、重債務貧困国や後発開発途上国に対する援助が積極的に行われている。

他方、自由な経済活動そのものがもつ限界もある。たとえば、地球環境問題は、企業の自由な活動や一国単位の対策にゆだねていては解決できない問題である。したがって、地球環境の保全のためには、国家間の協力によって、国際的なルールを作り、規制を行うことが必要となる。こうして、近年では、地球温暖化対策を話し合うための国際会議が開催されたり、環境保護に関するさまざまな条約が採択されたりしている。しかし、先進国と開発途上国の間で利害の対立があるため、国際的な合意形成は思うように進んでいない。国際社会は、こうした困難を乗り越えて、長期的視点に立った「持続可能な開発」をいかに実現するかという課題に直面している。

問1 文章中の空欄 **1** ~ **6** に入れるのに最も適当な語句を、次の語群からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

- |           |            |                |
|-----------|------------|----------------|
| a. リージョナル | b. モノカルチャー | c. リスト         |
| d. マルサス   | e. ペレストロイカ | f. 国有化         |
| g. ドイモイ   | h. グローバル   | i. BHN         |
| j. ブロック   | k. リカード    | l. インフラストラクチャー |
| m. N P O  | n. S D R   | o. 改革開放        |

問2 下線部①に関する次の文章中の空欄 **A** ~ **C** に入れるのに最も適当な語句をそれぞれ答えよ。

世界地図の上で、南側に貧しい開発途上国が多く、北側に豊かな先進国が多いことから、開発途上国と先進国との間の経済格差がもたらすさまざまな問題を **A** 問題という。

この問題を解決するため1964年に国連総会において **B** が設立されたが、その第1回総会に提出されたプレビッシュ報告は、「援助より貿易を」というスローガンを掲げ、先進国が開発途上国からの輸入品に対して関税面で優遇する一般 **C** 関税や、一次産品価格の安定のための国際商品協定などの実現を求めた。

問3 下線部⑥のB R I C Sに含まれない国を、次の①~④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① アルゼンチン ② インド ③ 中国 ④ ロシア

問4 下線部⑦に関する記述として最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 1973年にメジャー（国際石油資本）が原油の価格を大幅に引き上げたことから、第一次石油危機が発生した。
- ② 天然ガスは、火力発電の燃料としての需要が急増したにもかかわらず確認埋蔵量が増加していないため、あと約20年で枯渇するとされている。
- ③ プラチナや金など希少金属は、工業原料としての需要がないため、宝飾品としての需要の増減によって価格が大きく変動する。
- ④ アメリカではスリーマイル島の原子力発電所で放射能漏れ事故が発生し、ソ連ではチェルノブイリの原子力発電所で深刻な事故が発生した。

問5 下線部④に関連して、次のA～Cは世界の食料問題に関する記述である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- A トウモロコシがバイオエタノールの原料として利用されるようになったため、各国のエネルギー政策の動向が食料としてのトウモロコシの価格に影響を与えるようになった。
- B 開発途上国の人団動態が多産少死型から多産多死型に移行してその人口が爆発的に増加したことが、開発途上国における食料不足の原因となっている。
- C 大豆やジャガイモなどの遺伝子組み換え農産物は、食料としての安全性に問題があることから、日本では海外からの輸入が禁止されている。

- ① A—正 B—正 C—正
- ② A—正 B—正 C—誤
- ③ A—正 B—誤 C—正
- ④ A—正 B—誤 C—誤
- ⑤ A—誤 B—正 C—正
- ⑥ A—誤 B—正 C—誤
- ⑦ A—誤 B—誤 C—正
- ⑧ A—誤 B—誤 C—誤

問6 下線部④に関連して、日本のODA（政府開発援助）に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 他のDAC（開発援助委員会）加盟国に比べて、ODAに占める贈与の割合が高いという特徴がある。
- ② ODAの総額はDAC加盟国中で上位に位置するが、GNI（国民総所得）に対するODAの割合は国際目標値である0.7%を大幅に下回っている。
- ③ ODAの基本方針を定めたODA大綱では、供与先の国における環境の保全や民主化の程度が考慮されていない。
- ④ 開発途上国に対する贈与や貸与はODAに含まれるが、国際機関への出資・拠出はODAに含まれない。

**問7** 下線部①に関連して、地球環境の保全を目的とする条約A～Cと、その内容ア～ウの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、番号で答えよ。

A ラムサール条約

B バーゼル条約

C ワシントン条約

ア 絶滅のおそれがある野生動植物の国際的取引を規制している。

イ 有害廃棄物の国境を越えた移動および処分を規制している。

ウ 特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地の保全を定めている。

① A—ア B—イ C—ウ

② A—ア B—ウ C—イ

③ A—イ B—ア C—ウ

④ A—イ B—ウ C—ア

⑤ A—ウ B—ア C—イ

⑥ A—ウ B—イ C—ア

**問8** 下線部⑧に関連して、先進国が温室効果ガス削減の義務づけに積極的であるのに対して、開発途上国がこれに消極的である理由を30字以内で説明せよ。

# 倫理

## 1 次の文章を読んで、後の問い合わせ（問1～10）に答えよ。（配点 26点）

「正義」とは何だろうか。古代の先哲の思索を振り返ってみよう。

紀元前5世紀半ば頃、古代ギリシアでは、それまで主に自然現象に向けられていた関心が、人間や社会に向けられるようになってきた。この時期、ポリスにおける民主制の発展を背景にして、1と呼ばれる弁論術の教師たちが活躍したが、彼らは正義・善などに関する価値判断には絶対的な基準ではなく、価値の基準は相対的なものだとした。したがって、彼らの考え方には、ポリスの法や道徳を軽視する風潮を助長することにもなった。

ソクラテスもまた、1たちと同様に、従来の道徳や価値観を徹底的に吟味した。1  
たちと異なっていたのは、彼が、そのような吟味を、ポリスの秩序の回復に向けた、普遍的な倫理の探求へとつなげていったことである。徳としての正義もそのような観点から捉えられ、例えばポリスの法の遵守が正義とされた。ソクラテスの弟子のプラトンは、魂の諸能力がそれぞれの本分を果たした状態を正義とするユニークな正義論を展開したが、それは一個人についての議論にとどまるものではなく、ポリス全体をも視野に入れるものであった。さらに、アリストテレスは、ポリスの法の遵守と、ポリスの市民相互間の平等を正義だとした。このように、古代ギリシアにおける正義論は、ポリスの市民はどのように生きるべきかという観点から発展していった。このような意味での正義は、ストア派においては国家や民族の枠を超えて、すべての人間を対象とするものへと広げられた。これにより、彼らの思想はのちのキリスト教神学や近代の自然法思想の形成に大きな影響を及ぼした。

一方、ユダヤ教に始まる一神教の系譜において、正義は、人間とその社会との関係においてではなく、人間と神との関係において考えられた。キリスト教に即してこの点を見てみよう。いわゆる「山上の垂訓」において、イエスは人々に向かって「敵を愛し、あなた方を迫害する者のために祈りなさい」と説いた。これは、神が私たちにそそぐ2に倣って、そうした無差別無償の愛によって結ばれるような関係を、人間同士の関係においても実現すべきだ、という意味である。ここからアウグスティヌスは、「神を愛し、また隣人を、人間に従ってではなく、神に従って、自己自身のように愛することを志す人」を義人（正義の人）だとした。

正義は、古代ギリシアとユダヤ教以来の一神教の系譜において、それぞれ特徴的な仕方で論じられてきた。その共通点と相違点を考えることは、現代の私たちが正義を考える上でも参考になるであろう。

問1 文章中の空欄 **1** ・ **2** に入れるのに最も適当な語句を、それぞれカタカナで答えよ。

問2 下線部④に関連して、古代ギリシアの自然哲学について述べた次の文章中の空欄 **A** ・ **B** に入る語句と人名の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、番号で答えよ。

自然学者たちは、生成変化する自然現象の観察から出発して、論理的思考によりその根源である **A** を解明しようとした。例えば、タレスは水を、ヘラクレitusは火を **A** とした。また、**B** は、土・水・火・空気という四元素によって万物の生成と消滅を説明しようとした。

- ① A アトム B エンペドクレス
- ② A アトム B デモクリトス
- ③ A ケノン B エンペドクレス
- ④ A ケノン B デモクリトス
- ⑤ A アルケー B エンペドクレス
- ⑥ A アルkee B デモクリトス

問3 下線部⑤に関連して、ソクラテスは、人間が真理を探求するためには、人間の魂にとって最も大切な善美のことがらについて本当は何も知らないという自覚が重要であると説いた。このような自覚のことを何というか。4字で答えよ。

問4 下線部⑦に関連して、プラトンの思想に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① イデアとは生成消滅する個々の諸事物を成り立たせる真实在であり、すべてのイデアを統一し、個々のイデアをイデアたらしめる最高のイデアは愛のイデアである。
- ② 人間の魂は、生滅変化する不完全な現実界にあっても、つねにイデアに憧れ、それが原動力となってイデアを想起する。
- ③ 人間の魂は気概・理性・欲望の三つの部分からなり、気概がその他の二つの部分を統御するとき、魂全体に秩序と調和がもたらされる。
- ④ 最良の国制は、軍人階級と生産者階級によって民主的に選挙された統治者が、二つの階級の助けを得ながら、知恵を發揮して統治を行うことによって実現する。

問5 下線部④に関して、次の(1)・(2)に答えよ。

(1) 次のア～ウは、アリストテレスの思想について説明したものである。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、番号で答えよ。

ア 世界の諸事物は質料と形相からなり、事物の生成と変化は、質料に内在している可能態としての形相が現実化していく過程である。

イ 行為にかかる倫理的徳は、知性的徳に従って、過度と不足の中間としての中庸を選択し、それを繰り返すことによって形成される。

ウ 部分的正義は、名誉や報酬を各人の功績に応じて与える調整的正義と、利害や得失を均等にする配分的正義の二つに分けられる。

- ① ア 正 イ 正 ウ 誤
- ② ア 正 イ 誤 ウ 誤
- ③ ア 正 イ 誤 ウ 正
- ④ ア 誤 イ 正 ウ 正
- ⑤ ア 誤 イ 正 ウ 誤
- ⑥ ア 誤 イ 誤 ウ 正

(2) アリストテレスは、人間に最高の幸福をもたらすのは、日常生活における実用的な関心から離れ、理性を純粹にはたらかせる C 的生活であるとした。空欄 C に入れるのに最も適当な語句を答えよ。

問6 下線部④に関して、ストア派の祖であるゼノンは、人間と自然をともに貫くロゴスの法則と一致して生きることを理想としたが、そのように生きるために信条を何と表現したか。11字以内で答えよ。

問7 下線部①に関して、13世紀のキリスト教神学者で、スコラ哲学の大成者といわれる人物は、信仰の優位のもとに、信仰と理性を調和させようとした。この人物を答えよ。

問8 下線部⑧に関して、次の(1)・(2)に答えよ。

(1) ユダヤ教、キリスト教、イスラム教についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① ユダヤ教が律法を重視したのに対して、イエスは律法の廃止を説いた。
- ② ユダヤ教とは異なって、イスラム教では偶像崇拜が義務づけられている。
- ③ イスラム教においては、イエスは預言者の一人とされている。
- ④ イスラム教には、キリスト教とは異なり、神による最後の審判という考え方はない。

(2) イスラム教において、最大にして最後の預言者とされているのは誰か。

問9 下線部⑥に関して、地中海世界にイエスの教えを広めたパウロの思想について次の文章中の空欄  D ·  E に入る語句の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

パウロは、イエスの十字架上の刑死を、全人類が負っている原罪に対する  D として解釈した。そして「ローマ信徒への手紙」の中で、「人が義とされるのは……  E による」記した。

- ① D 賢罪 E 自由意志
- ② D 回心 E 信仰
- ③ D 賢罪 E 信仰
- ④ D 回心 E 自由意志

問10 下線部①に関して、アウグスティヌスの著作を、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 『三位一体論』 ② 『神学大全』 ③ 『ニコマコス倫理学』 ④ 『国家』

## 2 次の文章を読んで、後の問い合わせ（問1～10）に答えよ。（配点 26点）

私たちが何気なく用いている日本語の中には、仏教に由来する言葉が少なくない。人が亡くなると「仏になった」といったり、愛用品が壊れてしまったときには「お釈迦になった」といったりする。「知事」という言葉を聞くと、多くの人は都道府県の首長を思い浮かべるだろうが、これは本来、禅宗の寺院で庶務をつかさどる役職を意味する言葉である。「上品」「下品」という言葉も仏教に由来する言葉であり、極楽往生する者の生前の行いへの格付けを意味するものである。<sup>(b)</sup>

言葉に限ったことではなく、仏教は、日本人の考え方や生活に深く浸透している。しかし、多くの日本人にとって、仏教は、身近にありながらも、普段それが特別に意識されることのない宗教となっているといえるだろう。例えば、「あなたの家の宗派は何ですか」と聞かれたら、「○○宗です」と答える日本人は多いかもしれない。しかし、「あなたが信仰している宗教は」と尋ねられたら、「仏教です」と迷わず答えることのできる人は意外に少ないのではないだろうか。

たしかに、一口に仏教といっても様々な宗派が存在する。そもそも宗派とは、数多くの經典がインドから中国に伝わり、その經典の研究を進めていく過程で、ブッダの教えに対する解釈の仕方の違いから派生したものである。ある僧侶は『法華經』が真の教えであると説くなど、中国の僧侶たちは、多くの經典の中から自分たちが信じるものを見出し、それをもとに宗派を形成していったのである。こうして生まれた宗派の教えは日本にも伝わり、奈良時代には法相宗、華嚴宗、律宗などが、平安時代には、最澄によって天台宗が、空海によって真言宗がそれぞれもたらされた。<sup>(c)</sup>その後、中国の仏教を基礎としながらも独自の理論を掲げる新たな宗派も誕生する。<sup>(d)</sup>とくに鎌倉時代に誕生した新しい宗派は、時代とともに庶民の間に広まった。

現在の日本は、宗教離れや世代間の断絶、価値観の多様化が進み、とかく伝統文化である仏事作法・行事が過去の遺産として忘れ去られがちな時代にあるといわれる。そのせいか、現在の日本人の中には、宗派によって仏事作法が異なるということ、例えば、「南無阿弥陀仏」と念佛を称える宗派と「南無妙法蓮華經」と題目を唱える宗派が異なるということや、宗派によって戒名などが異なるということについて、案外知らないものである。<sup>(e)</sup>

「自分は無宗教だから、宗派や仏事作法の違いなんか知らなくてもよい」という意見もあるだろう。「現在の生活に満足しているから、仏教なんか必要ない」と考える人もいるかもしれない。しかし、宗派ごとの特徴や仏事作法・行事の違いについて学び、その上で日本の仏教文化に触れてみるのも無駄ではない。そうすることで、寺院の境内に足を運んだときに感じる情緒や、茶の湯の風流が、今までとは違う奥行きをもって現れてくるに違いない。<sup>(f)</sup>

問1 下線部②に関連して、仏道修行についての道元の考え方の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① いっさいの雑念を捨てて、ひたすら坐禅の修行に打ち込めば、すでにその修行のうちに悟りが実現している。
- ② 修行の第一の要諦は、師から与えられた公案の考究に集中することを通じて、修証一等の境地に達することにある。
- ③ 食事や洗面、清掃・洗濯といった日常雑事は、坐禅の修行とは無縁であり、むしろ坐禅の修行を妨げるものである。
- ④ 坐禅の修行は悟りを得るための手段であり、悟りそのものとは異なるから、坐禅の修行と悟りの体得は不二一体とはいえない。

問2 下線部⑥に関連して、浄土信仰・阿弥陀仏信仰をめぐる記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 源信は、穢れたこの世界を厭い捨て、次の生では浄土に往き生まれることを欣い求めよと説き、そのための方法として心に阿弥陀仏や極楽浄土を思い描く觀想念佛を説いた。
- ② 法然は、死後に浄土で悟りを得るには、現世で自力の修行によって悟りを得ようとする教え、いわゆる聖道門が不可欠であると説いた。
- ③ 空也は、悟りよりも救いを重視する阿弥陀仏信仰や専修念佛のあり方は、仏教の根本である菩提心を否定するものだとして厳しく批判した。
- ④ 一遍は、念佛を称えることは無間地獄へと墮ちる原因であると説き、浄土宗の教えをはげしく非難した。

問3 下線部⑤に関連して、仏教への深い理解を示した聖徳太子が制定したとされる『十七条憲法』には、みながひとしく「1」であることを自覚すべきという条文がある。ここには、仏の目から見れば人はみな欲望にとらわれた存在にすぎないという、仏教の人間理解を見ることができる。空欄1に入れるのに最も適当な語句を、漢字2字で答えよ。

問4 下線部①に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) ブッダの考えについての記述として適當なものを、次のア～ウのうちから過不足なく選び、記号で答えよ。

- ア 人生は苦に満ちている。真理について無知であることが、迷妄・煩惱の根源であり、あらゆる苦の原因である。
- イ いかなるものも独立して存在しており、互いに依存し合って存在しているのではない。
- ウ すべての命あるものに楽しみを与える慈しみの心や、苦しみを取り除くあわれみの心をもつことが大切である。

- (2) 平安時代の後期には、ブッダの入滅後、時間が経つとともに、ブッダの説いた教えだけは残るが、悟りが得られず、正しい修行もない時代に至るという思想が広まった。この思想を何というか。

問5 下線部②に関連して、次の文中の空欄 **A** ~ **C** に入る人名や語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、番号で答えよ。

日本では、奈良時代に **A** がインド伝來の授戒儀式を伝えて以来、官僧には小乗仏教の戒律である **B** 戒が授けられていたが、最澄はこれを改め、大乗仏教の戒律である **C** 戒を授ける制度を設けることを主張した。

- ① A 達磨 B 具足 C 菩薩
- ② A 達磨 B 菩薩 C 具足
- ③ A 鑑真 B 具足 C 菩薩
- ④ A 鑑真 B 菩薩 C 具足
- ⑤ A 如淨 B 具足 C 菩薩
- ⑥ A 如淨 B 菩薩 C 具足

問6 下線部①に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) 最澄は、特別な人に限らず、すべての人が悟りを得て仏の境地に達することができると考え、すべての人を悟りへと導く眞の教えを一つの乗り物にたとえ、『法華經』こそが、その眞の教えであるとする法華 **2** 思想を説いた。空欄 **2** に入れるのに最も適當な語句を、漢字2字で答えよ。

- (2) 真言宗では、人は、手に印契をむすび、口に真言を唱え、心に仏を念ずる三密の行を修することによって、仏の慈悲や宇宙万物の生命力を得て大日如来と一体になり、この世におけるこの身のままで仏になることができると説かれる。空海が説いたこのような考え方を何というか。漢字4字で答えよ。

**問7** 下線部⑧に関連して、浄土真宗の開祖である親鸞は、善行を積むこともできず、自力では煩惱から逃れることができないと自覚している者こそが、阿弥陀仏による真正の救いの対象であると説いた。親鸞のこうした考え方を何というか。

**問8** 下線部⑪に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

(1) 日蓮宗（法華宗）の開祖である日蓮は、正しい教えである『法華經』が興隆すれば、災いが払われ、社会の安穏<sup>あんのん</sup>が実現するとし、ある著作を北条時頼に献じようとした。この著作として正しいものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 『興禪護国論』 ② 『立正安國論』 ③ 『正法眼藏』  
④ 『教行信証』 ⑤ 『三教指帰』

(2) 法華宗の熱心な信者で、『農民藝術概論綱要』を著して「世界がぜんたい幸福にならぬいうちは個人の幸福はあり得ない」と述べ、農業を通して労働と信仰と芸術を一体化させたところに、個人と世界とが調和した理想的な社会が実現されると説いた人物を、次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 宮沢賢治 ② 岡倉天心 ③ 小林秀雄 ④ 鈴木大拙 ⑤ 石川啄木

**問9** 下線部①に関連して、仏教が日本に定着する過程で、寺院に鎮守の神が祀られたり、神社に神宮寺が設けられるなど、仏教信仰と日本固有の神の信仰とを融合・調和させる神仏習合が様々な形で現れた。神仏習合の具体例の一つに本地垂迹説があるが、この説の内容を、神仏の捉え方に留意しつつ、40字以内で説明せよ。

**問10** 下線部⑦に関連して、次の文章中の空欄 3 ・ 4 に入れるのに最も適当な人名・語句をそれぞれ答えよ。

日本に臨済宗を伝えた 3 は、中国（宋）に渡って禅を学ぶとともに茶の種子を日本に持ち帰り、『喫茶養生記』を著して喫茶の習慣が広まるきっかけをつくった。やがて室町時代になると、茶をたて客に供する礼法が確立していくことになる。安土桃山時代の茶人である千利休は、村田珠光に始まり武野紹鷗によって引き継がれた「4 茶」を完成し、多くの弟子を育てて茶道の発展に尽くした。千利休が重視した「4」とは、静かに澄んで落ち着いた味わい、閑寂な趣を示す理念であり、彼の茶道の理想は、簡素さにおいて一期一会<sup>一氣呵成</sup>の茶をもてなすことであった。

**③** 次の文章を読んで、後の問い合わせ（問1～8）に答えよ。（配点 24点）

ヨーロッパ中世の人々は、人間の弱さや罪深さ、世の中の不条理やみじめさを見つめ、この世を超越した永遠の神の世界に救いを求めた。しかし、近代初頭のヨーロッパは、ヒューマニズムを標榜するルネサンスや宗教改革を経て、人間中心の文化を築いていく。ここでは、近代以降のヨーロッパ精神の行方を追っていこう。

ルネサンスはある程度の地域的偏差があったが、ほぼ共通の古代語、共通の古典文学、共通の美的観念、共通の人間観をヨーロッパ全域に普及させた。ルネサンスの精神はヒューマニズムであったから、自然のままの「人間らしさ」に否定的なキリスト教の精神とは根本的に対立するはずである。確かにこの時期、教会の支配は批判に晒された。しかし、芸術作品に示されているように、A。そして、そこに「ヨーロッパらしさ」が求められた。

一方、宗教改革は「源泉に帰れ」というモットーをルネサンスと共有していた。そして、この宗教改革を指導したルターやカルヴァンは、「源泉」である聖書をもとに、人間は完全に罪に染まっていて自力では何の善もなし得ないと主張した。しかし、宗教改革を支える精神が必ずしもこのような主張で塗り固められていたわけではない。例えばルターの後継者メランヒトンは、やがてルターの原罪論・奴隸意志論から次第に離れ、人間の「自由な意志」の力を雄弁に語るようになる。それは、宗教改革におけるヒューマニズム宣言であったともいえるだろう。

理性的に考え、今まで絶対化されてきたことを疑い、各人がそれぞれの方法で真理を探求することが大事だと信じるルネサンスのヒューマニストやヒューマニストの流儀で宗教改革を支えたメランヒトンらは、異教徒や異宗派に対して比較的寛容であった。しかし、宗教改革後に西ヨーロッパ諸地域に並び立ったカトリック、ルター派、カルヴァン派の三大教会の指導者たちは、やがて自派の教えを絶対視する傾向に陥り、異説に対して極めて不寛容な態度を示すようになる。

この対立を克服していく中で、次第にヨーロッパは富を蓄え、自らが世界の中心であるという尊大な自己理解を増幅させる。それと並行するように、不寛容な態度はオリエント（東洋）へと向かい、ヨーロッパは、「文明化」を掲げてオリエントを植民地化する歴史を突き進んでいくのである。

**問1** 下線部④に関連して、フランスの哲学者ベルクソンは、人間をどのような存在として定義づけたか。最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 知恵があり言語文化を発達させてきたホモ・サピエンス（英知人）
- ② 遊びによって文化を発展させてきたホモ・ルーデンス（遊戲人）
- ③ シンボルを介して世界を理解するホモ・シンボリクム（象徴を扱う人）
- ④ 道具を作り自然に対してはたらきかけるホモ・ファーベル（工作人）

**問2** 下線部⑤に関して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) 次の記述ア～エは、ルネサンスの人文主義者（ヒューマニスト）の説明である。その説明が正しいときには○、間違っているときには×を、それぞれ所定の欄に記入せよ。

ア ポッカチオは、『デカメロン』において、人生の諸相や人生の快楽を求める男女の姿をおらかな人間解放の精神をもって描いた。

イ ピコ・デラ・ミランドラは、『人間の尊嚴について』において、人間だけは自らの自由意志によって自分の欲するところのものになれるとして主張した。

ウ エラスムスは、『痴愚神礼讃』において、<sup>ぬぐ</sup>拭い難い原罪を背負った存在である人間は、決して自らの意志によって善をなし得ないと主張した。

エ トマス・モアは、『ユートピア』において、人間性に反する財産共有制を批判し、万人が意のままに欲望を追求できる理想社会を描いた。

- (2) ルネサンスにおいては、レオナルド・ダ・ヴィンチのように、あらゆる分野で自らの能力を全面的に發揮する人物が尊敬され、理想の人間とされた。こうしたルネサンスにおける理想の人間像を何というか。漢字3字で答えよ。

**問3** 下線部⑦に関して、フランスのある思想家は、悪徳などが渦巻く文明社会を批判し、自然のままの人間に備わる善意に基づいた社会を取り戻そうとした。また、この思想家は、『エミール』において、青年期を「第二の誕生」の時期と捉えたことでも知られる。この思想家を答えよ。

**問4** 本文の内容を踏まえ、空欄 A に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① ルネサンスの精神とキリスト教の精神は、矛盾と対立を抱えながらも、独特の仕方で融合し、この両立こそがヨーロッパ世界固有の現象であると認識されるようになった。
- ② ルネサンスの精神とキリスト教の精神に、矛盾や対立はなく、やがて双方とも衰退し、この衰退こそがヨーロッパ世界固有の現象であると認識されるようになった。
- ③ ルネサンスの精神とキリスト教の精神は、矛盾と対立を抱えながら、敵対関係を先鋭化させていき、この先鋭化こそがヨーロッパ世界固有の現象であると認識されるようになった。
- ④ ルネサンスの精神とキリスト教の精神に、矛盾や対立はなく、それ各自由に発展し、この発展こそがヨーロッパ世界固有の現象であると認識されるようになった。

**問5** 下線部④に関して、次の(1)～(3)に答えよ。

(1) ルターの事績に関する記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

① スイスのジュネーブを理想的なキリスト教都市にするために、教会の指導のもと市民に厳格な信仰生活を要求するなど、宗教改革の理念を現実の政治にも活かそうとした。

② 神の啓示そのものである聖書を翻訳したのでは、必ず翻訳者の解釈が入ってしまい神の意志を正しく伝えられないとして、聖書をドイツ語などの他の言語に翻訳することに反対した。

③ 神を信じる者はすべてひとしく司祭であると主張し、カトリック教会のように、聖職者に一般信徒とは異なる特別な地位を与えることに反対した。

④ 軍隊的な規律をもった修道会であるイエズス会を創設し、その会員をヨーロッパ全域に派遣して神学校を各地に創設したり、中南米や中国・日本などへの積極的な布教活動を行わせたりした。

(2) カルヴァンは、聖書研究とともに、神の救済に与る者と、滅びに至る者はあらかじめ神によって決められているという思想を唱えた。この思想を一般に何というか。漢字3字で答えよ。

(3) 『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』において、プロテスタント的な考えを背景に世俗の職業的な営為と内面的信仰とが結びついたことが、近代資本主義の発展を促したと論じたドイツの社会学者は誰か。

**問6** 下線部④に関して、ルネサンスや宗教改革後のヨーロッパでは、人間の「自由な意志」をめぐる哲学的な議論が深められた。その一つの頂点を極めた思想家にドイツのカントがいる。彼は、人間の意志が本能や、義務の意識を欠いた傾向性などに縛られず、自らの理性が打ち立てた  
B 法則に従うことに人間の自由を見いだした。空欄 **B** に入れるのに最も適当な語句を、漢字2字で答えよ。

**問7** 下線部①に関して、次の(1)・(2)に答えよ。

(1) 宗教改革期のフランスの思想家モンテニュは、『エセー（隨想録）』において、不寛容の原因を、自己反省の欠如に由来する偏見や独斷にあるとし、「ク・セ・ジュ」という言葉で言い表される **C** の立場から、謙虚な自己吟味を怠らないことが人間としての望ましい姿であると主張した。空欄 **C** に入れるのに最も適当な語句を、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 快楽主義 ② 懐疑主義 ③ 合理主義 ④ 経験主義

(2) 『寛容論』において、虚弱で無知な人間は互いに許し合うべきであり、意見を異にするものを許容せよというのが自然の教えであると主張し、宗教的な狂信を批判したフランスの啓蒙思想家は誰か。

**問8** 下線部⑧に関連して、パレスチナ出身の思想家サイードは、西洋近代社会は東洋（オリエント）との関係で独特の自己像を作り上げていったとし、そのような思考様式を「オリエンタリズム」と呼んで批判した。その思考様式の内容を、「他者」・「自己」という語を用いて、50字以内で説明せよ。

#### 4 次の文章を読んで、後の問い合わせ（問1～11）に答えよ。（配点 24点）

科学・技術が現代文明を支える大きな柱であるということに異議を唱える人は、ほとんどいないのではないだろうか。科学・技術を取り去った生活がどういうものであるか、もはや私たちは具体的にイメージすることすらできないだろう。かつて、イギリス経験論の哲学者であるベーコンは、人間が自然を支配して生活を向上させるための自然についての知を獲得することが学問の目的であると説いたが、現代の科学・技術の進展は、そのベーコンの想定すらも超えているのかもしれない。今日の生命工学・医療技術は、ベーコンの時代から見れば、まるで「不老不死の薬」を手に入れつつあるかのように映るであろう。

もちろん、科学・技術の進展がバラ色で染めあげられた世の中を作り出したとはいえない。科学・技術の進展によって物質的な豊かさに恵まれた社会が実現した反面、資源の大量消費によって資源問題・環境問題が深刻化している。また、農薬が開発されそれが大量に使用されたことで生態系の破壊がもたらされてきた。あるいは、原子力エネルギーの解放は、もともと原子爆弾という大量殺戮兵器の開発を目的に行われたものであり、その核兵器は現在もなお大量に存在し人類社会の脅威となっている。

こうした科学・技術の側面をめぐっては、しばしば「科学が社会によって悪用されないためにはどうしたらよいか」といった観点から議論されることがある。しかし、この観点そのものに問題はないだろうか。この観点では、科学が社会とは別の自律的な存在であること、科学そのものは中立的なものであることが、前提となってはいないうだろうか。ところが今日、こうした科学の位置づけは必ずしも妥当なものとはいえない。現代の科学研究は、研究者個人が自己の純粹な知的関心のみによって自由に真理を探求するという性質のものではない。巨大な研究システム・組織や巨額の研究費が必要であり、それを確保するためには国家や産業界によるバックアップが不可欠となっている。逆にいえば、そうしたバックアップのないものは、そもそも研究として成立しにくい。そして、産業界はもちろん国家においても、実用性が射程に入る科学研究が——いわゆる基礎科学であっても——優先される。つまり、科学研究の方向性は、科学の自律的発展性によってではなく、社会的条件によって規定されているわけである。したがって、A。そしてまた、このように考えると、科学・技術によって様々な害悪がもたらされたという理由で科学そのものを否定する反科学主義も、科学を社会と切り離すことのできる独立したものと捉えていることに変わりはないから、やはり妥当ではない。

かつて、大陸合理論の祖であるデカルトは、確かな学問を打ち立てるためにはその最初の土台が揺るぎないものでなければならないという立場から思索を展開した。同様に、科学・技術が私たちに与える影響について議論する場合、その議論の前提となる、科学・技術の現実のあり方を的確に捉えておかなければならない。そうでなければ、議論そのものが空回りしてしまうであろう。

**問1** 下線部④の系譜に位置づけられ、人間の知覚とは独立して事物が存在するという考え方を否定して、「存在するとは知覚されることである」と主張した哲学者を答えよ。

**問2** 下線部⑤のベーコンは、正しい学問的認識の妨げとなる先入見・偏見のことを何と呼んだか。カタカナで答えよ。

**問3** 下線部⑥に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

(1) 日本における現行の臓器移植法（臓器の移植に関する法律）において、脳死した者の身体からの移植のための臓器摘出が認められる場合を、次のア～ウのうちから過不足なく選び、記号で答えよ。

ア 脳死した者からの臓器摘出について、本人は生存中に拒否する意思を書面で示しているが、遺族（家族）が書面で同意を与えている場合。

イ 脳死した者からの臓器摘出について、本人の意思は不明であるが、遺族（家族）が書面で同意を与えている場合。

ウ 脳死した者からの臓器摘出について、遺族（家族）は拒否しているものの、本人が書面で同意している場合。

(2) 今日の医療では、「医師の十分な説明を受けた上で患者の同意」に基づいて治療を進めるべきであるという考え方方が重視されている。こうした同意のことを何というか。カタカナで答えよ。

問4 下線部④に関連して、次の表は環境問題に関する世論調査の結果をまとめたものの一部である。「ごみを少なくする配慮やリサイクルの実施」について、調査対象者の「総数」での回答割合を示すとともに、「循環型社会の形成についての意識」に関する回答割合などを示したものである。この表から読み取れる事柄として正しいものを、下のア～ウのうちから過不足なく選び、記号で答えよ。

(該当者数の列の単位は人、その他の列は%)

	該当者数	ごみを少なくする配慮やリサイクルの実施				
		いつも実施している	ある程度実施している	あまり実施していない	ほとんど(全く)実施していない	わからない
総数	1912	34.9	51.9	11.9	1.1	0.2
循環型社会の形成についての意識	生活水準を落とすので循環型社会移行は受け入れ不可	59	32.2	45.8	20.3	1.7
	生活水準は落とさずできる部分から循環型社会に移行	947	30.6	56.5	12.1	0.7
	生活水準が多少落ちても循環型社会への移行はやむなし	597	37.0	52.6	9.4	0.8
	生活水準が落ちても循環型社会に移行すべき	187	47.1	40.1	11.8	1.1
	その他	—	—	—	—	—
	わからない	122	41.0	33.6	18.0	4.9
						2.5

(資料) 内閣府大臣官房政府広報室「環境問題に関する世論調査」(平成24年6月調査)により作成。

ア 「循環型社会の形成についての意識」を回答別に見ると、回答割合が最も高いのは「生活水準は落とさずできる部分から循環型社会に移行」であり、最も低いのは「生活水準を落とすので循環型社会移行は受け入れ不可」である。

イ 「循環型社会の形成についての意識」を回答別に見ると、「ごみを少なくする配慮やリサイクルの実施」について「いつも実施している」という回答割合が最も低いのは、「生活水準を落とすので循環型社会移行は受け入れ不可」である。

ウ 「循環型社会の形成についての意識」についてどのような回答をした人であっても、「ごみを少なくする配慮やリサイクルの実施」について最も回答割合が高いのは「ある程度実施している」である。

問5 下線部⑤を考える上で注目されている理念で、「将来の世代のニーズを満たす能力を損なうことなく、現在の世代のニーズを満たすような開発」を意味する言葉を7字で答えよ。

問6 下線部①に関連して、世界の著名な科学者の賛同を得て1955年に核兵器の不使用と戦争の廃絶を訴える共同宣言が出されたが、この宣言は哲学者のラッセルと物理学者の **B** との呼びかけによって作成されたものである。空欄 **B** に入れるのに最も適当な人名を答えよ。

問7 下線部②に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) 近代科学の発展に寄与した人物についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。
- ① コペルニクスは、宇宙の中心に太陽があるとするそれまで支配的であった天文学説を否定し、地球が宇宙の中心にあるとする新たな天体理論を唱えた。
- ② ガリレイは、地動説を支持する立場から『聖書』の記述は誤りであると考え、ついにはキリスト教を否定するに至ったことから、宗教裁判にかけられた。
- ③ ケプラーは、天体観測のデータをまとめることを通じて、惑星の軌道は橈円を描くことなどを内容とする惑星運動に関する三つの法則を発見した。
- ④ ニュートンは、「唯一絶対の神」なるものは自然研究において有害な存在であるとする立場から、神について論じている学問はすべて偽りであるとした。
- (2) 科学史家のクーンは、科学研究は客観的真理に向かって累積的・直線的に進歩するものであるという伝統的な科学史観を批判し、科学の進歩とは科学者集団に共有されている研究の前提となるものの見方や研究方法、すなわち **C** の転換であるという考えを提唱した。空欄 **C** に入れるのに最も適当な語句を、カタカナ5字で答えよ。

問8 下線部⑤に関連して、プラグマティズムの哲学者ジェームズは、「真理」とはどのようなものであると考えたか。10字以内で説明せよ。

問9 本文の趣旨に照らして、空欄 **A** に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 「科学が社会によって悪用される」という問題提起は、科学と社会とを別のものとして位置づけているため、科学が社会的な存在であり社会と不可分のものであることを見落とすことになりかねない。すなわち「科学そのもの」という形で科学だけを社会から分離してそのあり方を議論すれば、空論に陥る危険性がある
- ② 科学は本来的に善であるにもかかわらず、社会的条件によってその善性が奪われているのである。すなわち、現代においても科学そのものは実利を離れて真理そのものを客観的に追求する営為であるが、こうした科学の本質を社会がねじ曲げてしまっていることから、諸矛盾が顕在化するのである

- ③ 科学と社会とを対立的に捉えることがそもそも誤りであり、社会のあり方がどのようなものであっても、科学は人間にとて利益とともに害悪をもたらす本性があることを、見落としてはならない。すなわち、科学という當為そのものが排斥されるべきものであることを、現代に生きる私たちは認識しなければならない
- ④ 社会のあり方が科学のあり方を規定しているのである、「科学そのもの」が善であるか惡であるかというのは無意味な議論である。だからこそ私たちは、現実の科学のあり方がどのようなものであるかといった空論は考察の外に置き、科学のあり方を規定する「社会そのもの」のあり方を議論すべきなのである

問10 下線部①の系譜に位置する学者であるライプニッツは、真理を次の  $\alpha \cdot \beta$  の二つに区分した。このうち  $\alpha$  の意味での真理にあたる命題として最も適當なものを、下の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- $\alpha$  その命題を否定すると、命題内部に論理的な矛盾が生じてしまうがゆえに、その命題は真理であると見なされる真理、すなわち理性の真理。
- $\beta$  その命題を否定しても論理的矛盾は生じないが、事実に照らして真理であるといえる真理、すなわち事実の真理。
- ① 德川家康は17世紀初頭に江戸幕府を開いた。  
 ② 三角形は三つの頂点をもつ。  
 ③ 英語の「speak」の過去形は「spoke」である。  
 ④ ヒトの心臓は2心房2心室をもつ。

問11 下線部①に関連する次の文章中の空欄 a ~ c に入る語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選び、番号で答えよ。

デカルトは、学問は a の方法に範をとるべきであるとして、理性による論理的推論を重んじる b を正しい学問の方法であるとした。そして、この推論の出発点となる絶対確実な真理を探求すべく方法的懷疑を行い、その結果、c の存在こそ絶対確実な真理であるとして、これを「哲学の第一原理」であるとした。

- ① a 数学 b 演繹法 c 考える私  
 ② a 数学 b 演繹法 c 無限なる神  
 ③ a 数学 b 帰納法 c 考える私  
 ④ a 数学 b 帰納法 c 無限なる神  
 ⑤ a 法学 b 演繹法 c 考える私  
 ⑥ a 法学 b 演繹法 c 無限なる神  
 ⑦ a 法学 b 帰納法 c 考える私  
 ⑧ a 法学 b 帰納法 c 無限なる神







© Kawaijuku 2014 Printed in Japan

無断転載複写禁止・譲渡禁止